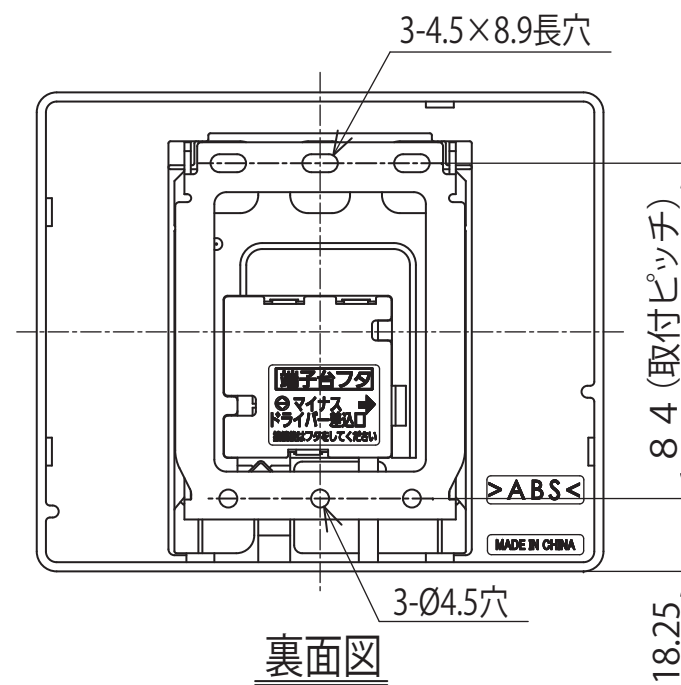
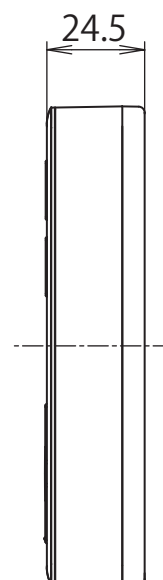
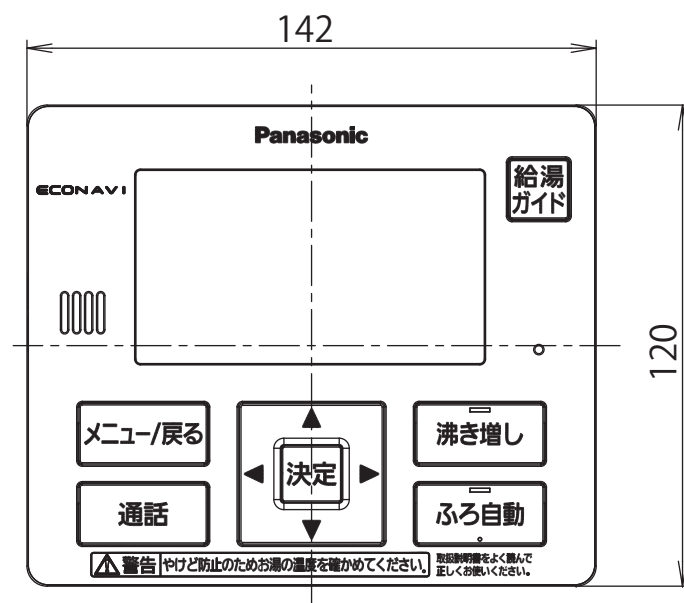
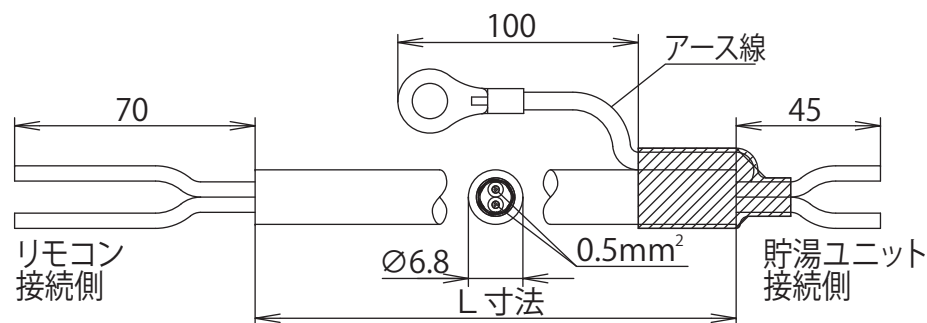




裏面図

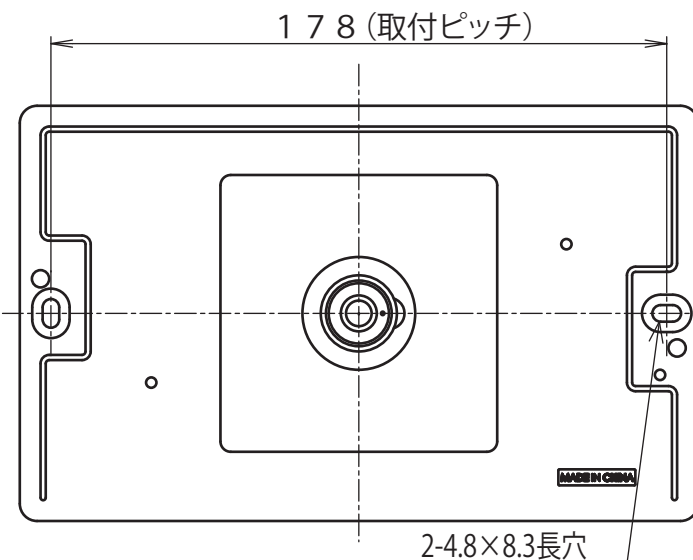
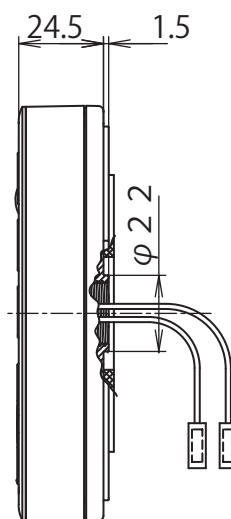
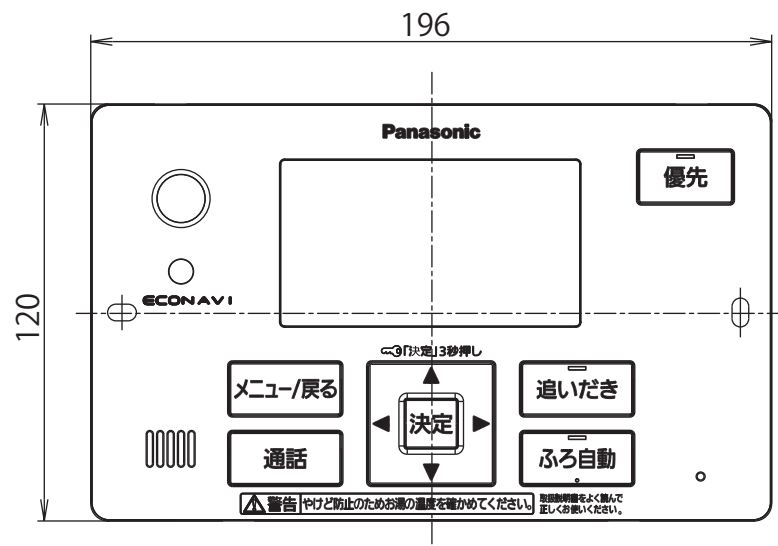


リモコンコード(別販品)

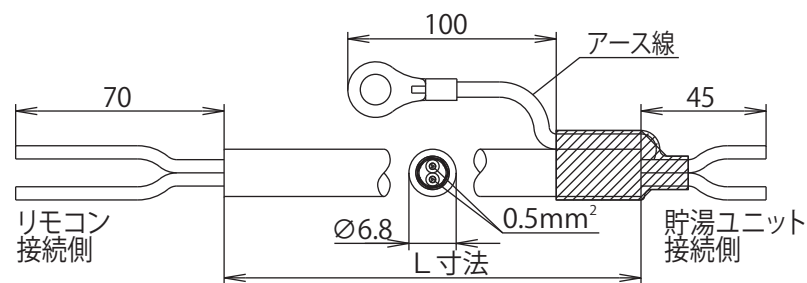
シールド付リモコンコード(2心)	
品 番	L寸法
AD-HERS-205	5m
AD-HERS-210	10m
AD-HERS-215	15m
AD-HERS-220	20m

単位 : mm

提出先		品名	コミュニケーション(通話機能)リモコン 台所リモコン(別販品)	品番	HE-CQFHW
	尺度 1 / FREE	外形寸法図			



裏面図

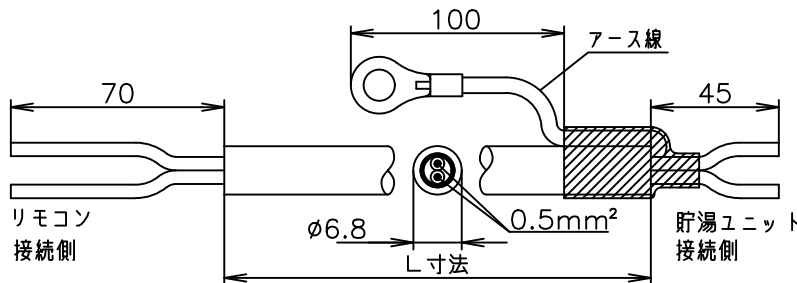
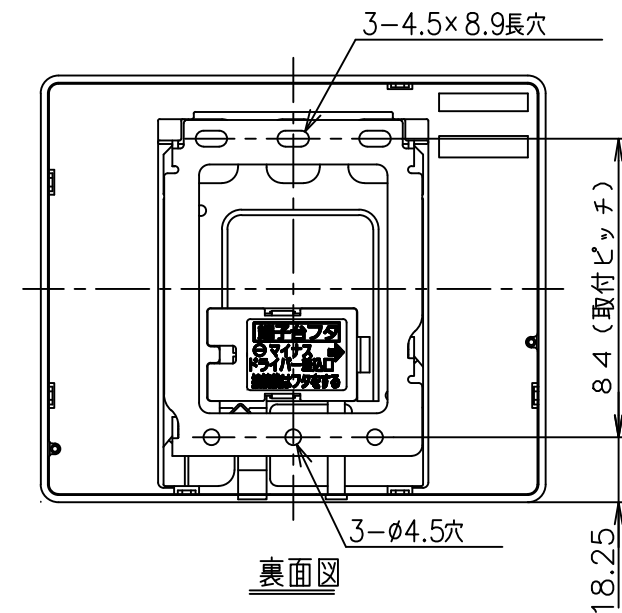
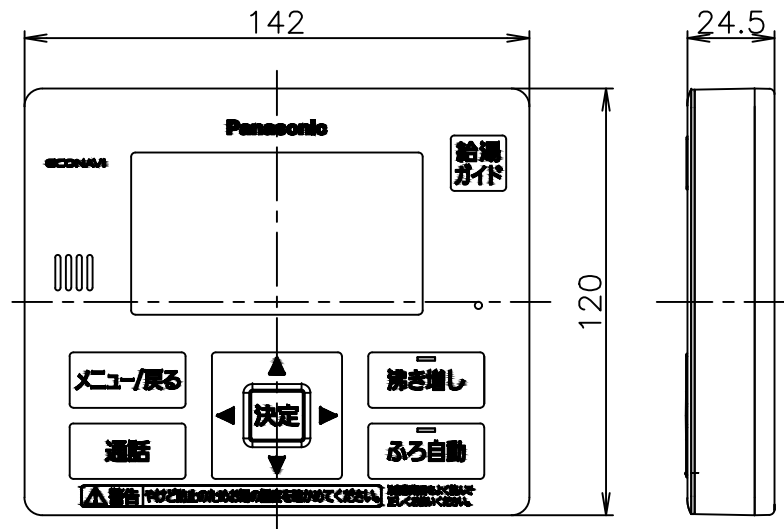


リモコンコード(別販品)

シールド付リモコンコード(2心)	
品 番	L寸法
AD-HERS-205	5m
AD-HERS-210	10m
AD-HERS-215	15m
AD-HERS-220	20m

単位 : mm

提出先		品名	コミュニケーション(通話機能)リモコン 浴室リモコン(別販品)	品番	HE-CQFHW
尺度		1 / FREE	外形寸法図		
作成日付		2016年 3月25日	図 面 整理 No.	HECQFHW-2	改訂 No. 0

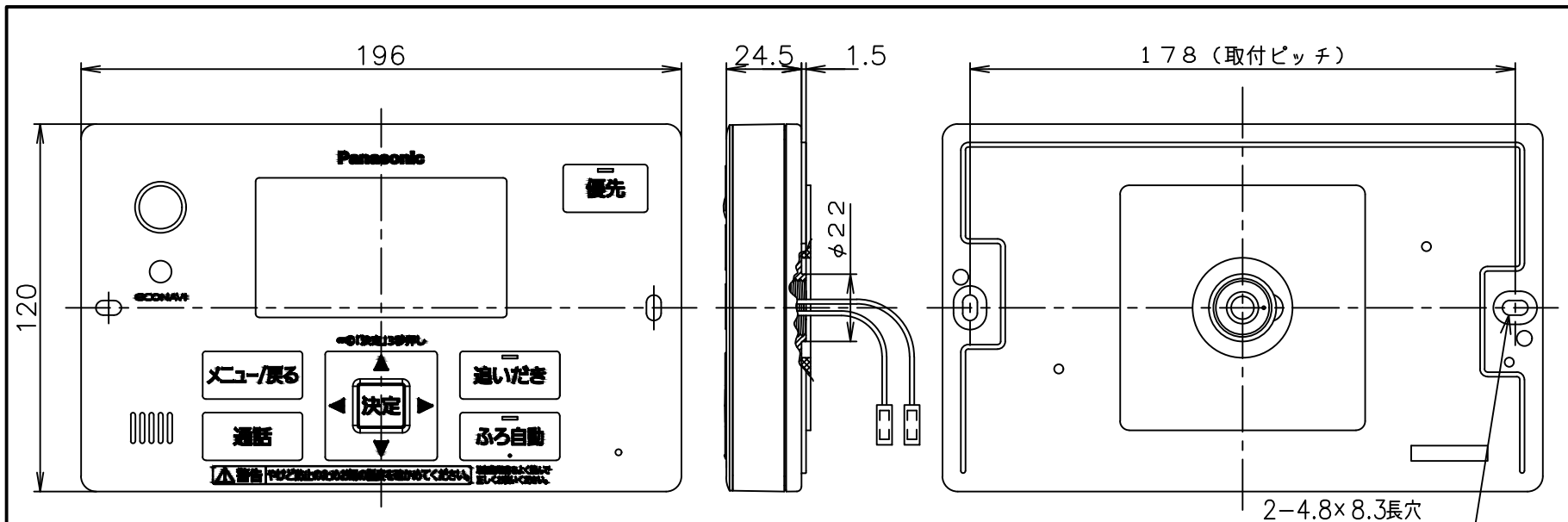


リモコンコード（別販品）

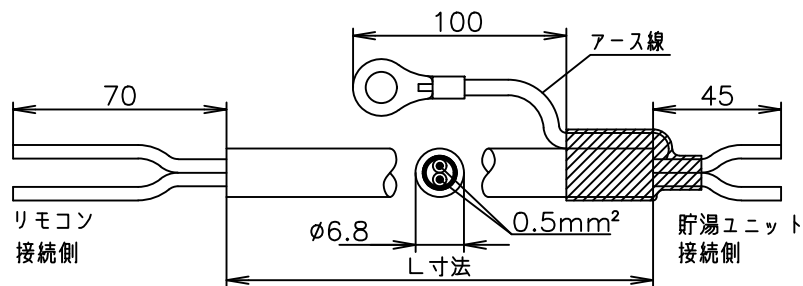
シールド付リモコンコード（2心）	
品 番	L寸法
AD-HERSA-205	5m
AD-HERSA-210	10m
AD-HERSA-215	15m
AD-HERSA-220	20m

単位：mm

提出先		品名	コミュニケーション（通話機能）用 台所用（別販品）	品番	HE-TQWLW
尺度 1/FREE		外形寸法図			
作成日付 2023年 6月 1日		図 面 整理 No.	HETQWLW-1		改訂No. 1



裏面図



リモコンコード (別販品)

シールド付リモコンコード (2心)	
品 番	寸法
AD-HERSA-205	5m
AD-HERSA-210	10m
AD-HERSA-215	15m
AD-HERSA-220	20m

単位: mm

提出先		品名	コミュニケーション(通話機能) 兼 浴室脱衣(別販品)	品番	HE-TQWLW
尺 度 1/FREE		外形寸法図			
作成日付 2023年 6月 1日		図 面 整理 No.	HETQWLW-2		改訂No. 0

工事説明書

家庭用ヒートポンプ給湯機

■高圧力型フルオート

屋外用

屋内用

システム品番	HE-V20HQCS	HE-V20HQMCS
貯湯ユニット品番	HE-V20HQC	HE-V20HQMCMC
ヒートポンプユニット品番	HE-PV45HC	HE-PV45HC



*工事をされる方へのお願い

この工事説明書は、工事業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。工事開始前に必ずお読みください。特に「安全上のご注意」(P.2) は工事前に必ずお読みください。本書の記載事項に従って工事をされなかったことが原因で生じた故障・事故などは、保証の対象になりませんので、ご注意ください。設置工事後、この工事説明書は取扱説明書と一緒に、お客様にお渡しください。

ページ

準備

安全上のご注意

2

施工上のお願

3

関係寸法図

4

付属品 / 別売品 / 専用別売部材

6

据付

据え付け場所を決める

8

据え付ける

10

配管

配管工事をする前に

12

排水配管する

13

給水・給湯配管する

14

ヒートポンプユニット配管する

16

ふろ配管する

18

保温・凍結予防工事する

22

配線

連絡配線する

24

リモコン配線する

25

電源工事する

26

アース工事する

27

点検

試運転する

28

水抜きする

41

チェックシート

42

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容（禁止事項）です。



実行しなければならない内容（強制事項）です。



警告



■ 貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットのアース工事（D 種接地工事）を行う工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が行う（故障や漏電のときに感電の原因になります）



■ 上水道直結の配管工事は、当該自治体（水道事業管理者）の認定水道工事業者が指定された配管材料を使用して施工する（事故、故障の原因になります）

■ 据え付けはお買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事は必ず指定の部品を使い、工事説明書に従って確実に行う（火災や感電、水漏れの原因になります）

■ 専用のブレーカーを単独で使う（他の機器と併用したとき、発熱による火災の原因になります）

■ 電源電線などは接続部に外力が加わらないように確実に取り付ける（発熱して火災の原因になります）

■ 連絡線は、途中接続やより線の使用はせず、所定のケーブルを使用して接続する（故障や発熱、火災の原因になります）

■ 試運転時に漏電しゃ断器の作動を確認する（万一の不作動で、故障や感電の原因になります）

■ 満水重量に十分耐えられる所に据え付ける（転倒により事故の原因になります）

■ 凍結予防ヒーターは凍結予防ヒーターに同梱の工事説明書に従って、施工する防水性に適合する屋外用コンセントを使用し、ヒーターは点検と交換ができるように取り付ける電源コードやヒーターの固定は、ねじり、折り曲げ、束ね、重ね巻き、密着巻きをしない（火災や感電、水漏れの原因になります）



■ ガス類容器や引火物の近くに据え付けない（本体のスパークによる発火の原因になります）

■ ヒートポンプユニットは屋内に設置しない（冷媒が漏れたとき、酸素不足のおそれがあります）

■ ヒートポンプユニットはベランダの手すり近くに設置しない（お子様が登り、手すりを越えるなどして落下のおそれがあります）



注意



■ 水道水を使用する

（温泉水や、井戸水を使用すると故障や水漏れの原因になります）

■ 貯湯ユニットの脚はアンカーボルトで固定する（地震などによって転倒してけがをするおそれがあります）

■ 壁面へのネジ固定は、ネジが壁中のラス網と電氣的に絶縁した状態で行う（ネジとラス網との接触部過熱により、火災の原因になります）

■ ドレン工事は工事説明書に従って確実に行う（周囲が浸水し、家財などをぬらす原因になります）

■ 間接排水工事をする（タンクの破損による水漏れの原因、また汚水が逆流してタンクに入ると水質の変化により健康を害するおそれがあります）

■ 下水口などに排水するときは、下水ガスが封水されるように排水工事をする（下水ガスが逆流して配管が腐食し水漏れの原因になります）

■ 凍結予防をする（配管が破損して、やけどや水漏れの原因になります）

■ 屋内に設置する場合は、必ず屋内用貯湯ユニットを設置する（水漏れによる拡大被害の原因になります）

■ ご入居まで長期間使わないときは、貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きが完了したことを確認し、使う前まで水抜きした状態を保つ（P.41）（水質の変化により、飲用すると健康を害するおそれがあります）

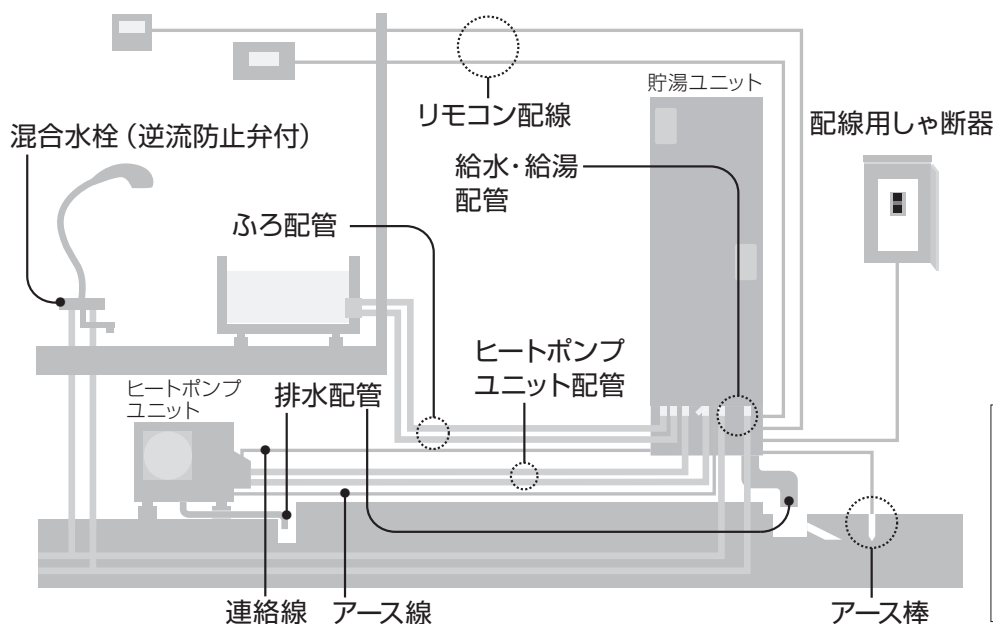


■ 防水・排水処理をしていない床面に設置しない（屋内、階下などに浸水し、家財などをぬらす原因になります）

■ 小動物のすみかになるところには設置しない（小動物が機器内に侵入して電気部品などに触れると発煙、発火の原因になります）

■ ヒートポンプユニットの吹出口やアルミフィンにさわらない（けがの原因になります）

本書では、高圧力型フルオートを、「フルオート」と記載して説明しています。



各工事の完了後は、
チェックシート
(P.42～43)で
不具合がないか
確認してください。

- ガス機器から電気機器へ変更をする際（ガス給湯機から電気温水器やヒートポンプ給湯機への取替など）は、事前にガス事業者への連絡が必要になります。ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されておりますのでご注意ください。

■ 工事について

- 貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットは、各自治体の条例を含む法令等に基づき設置してください。
- 騒音については、環境基本法第 16 条と各自治体の条例等に基づいてください。
- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、必ず指定工事業者が行ってください。
- 電源は節電器に接続しないでください。機器故障の原因となります。
- アース（接地）工事は、万一の感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に基づいて、必ず電気工事士による D 種接地工事を行ってください。
- リモコンから貯湯ユニットまでの配線は、リモコンコードと電源電線を 5 cm 以上離して行ってください。
- 貯湯ユニット内の配線は、リモコンコードと電源電線を束ねないで行ってください。通話中、異音発生の原因になります。
- 上水道に直結する工事は、各自治体の条例等に基づき、認定水道工事業者が指定された配管材料を使って施工してください。
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。
井戸水は使用しないでください。また水道水であっても塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域ではヒートポンプ給湯機の使用をさけてください。ヒートポンプユニット内の熱交換器にスケールが付着し、短期間でお湯が沸かなくなります。
- ソーラー（太陽熱温水）システムには接続しないでください。高温水で機器故障の原因となります。
- 貯湯ユニットは必ずヒートポンプユニットと接続してください。ヒートポンプユニットは屋外に設置してください。
- 配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。
- 機器搬入据え付け時や配管引き回し時などに製品本体を変形させるような外力を加えないでください。

■ 配管の材質選定について

- 使用地域の水質により、銅管の銅イオンの溶出が多い場合があります、せっけん、湯あかと反応して青色の銅せっけんが生成され、浴そうの水面付近に青い色が付くことがあります。
このような現象が発生するおそれがあるときは銅管は使用せず、当社専用別売部材の樹脂管または三層管をご使用ください。（青い色の付着を軽減できます）

■ 給水圧力について

- 200 kPa 以上の給水圧力が必要です。給水圧力が低いとシャワーが弱い、追いだきができないなど十分な性能が得られません。
圧力計により、1 階で静水圧を測定してください。
給水配管は 20A 銅管または 16A 樹脂管としてください。
(配管径が小さいと水圧が低下します)
測定後、右の方法で確認してください。
- 高水圧地区や、給水圧力が 500kPa を超える場合は戸別給水用減圧弁を設けてください。(水撃音や故障の原因になります)

・給水圧力の目安の確認方法

近くの給水栓から水を出し、1階で、市販のバケツを受けて満水になる時間を測定します。下表の時間内に満水になれば、200 kPa以上の給水圧力があります。

单位：秒

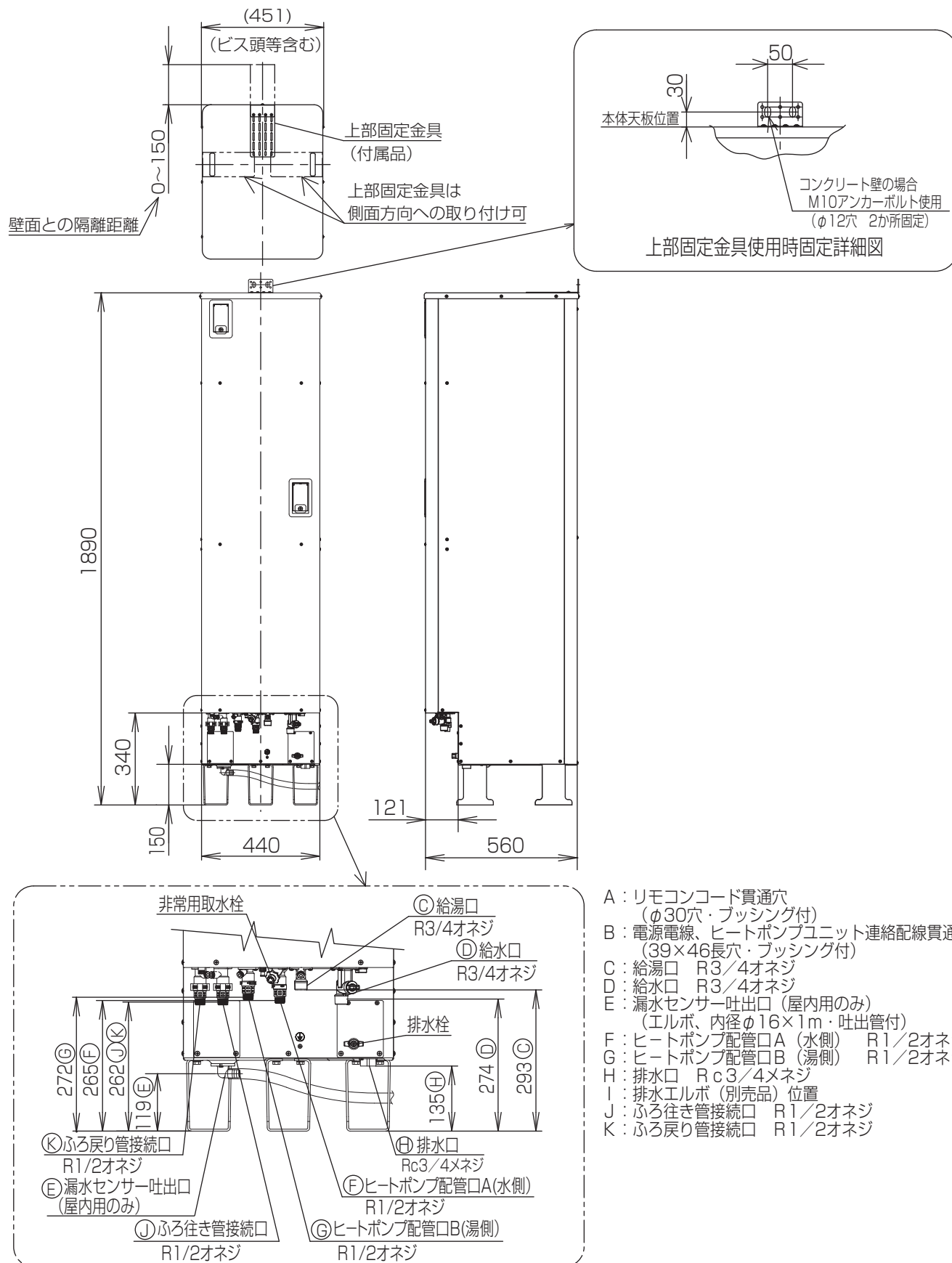
バケツ容量	8 L	10 L	12 L	15 L
2バルブタイプ・水側全開	30	37	45	56
サーモスタットタイプ・水側	34	42	51	64

バケツの容量は裏面に表示されています。

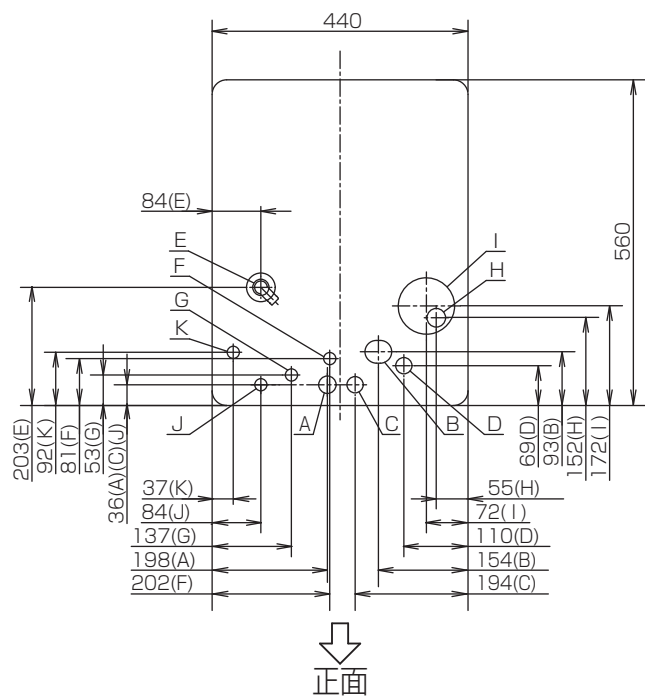
貯湯ユニット

■ 外形寸法図

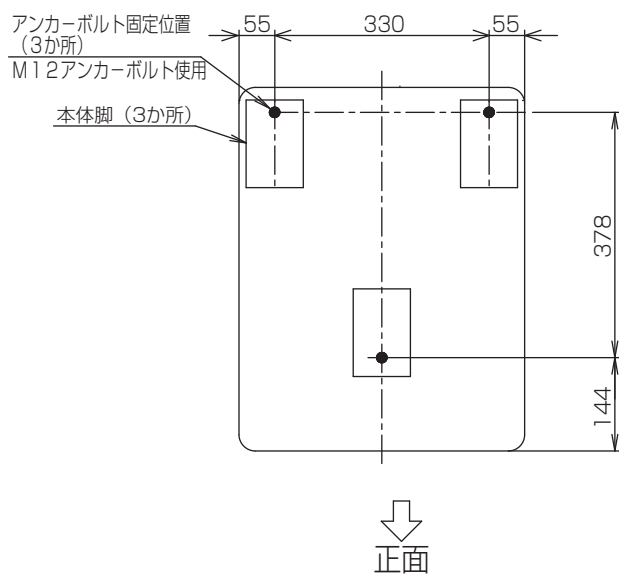
〔単位：mm〕



■配管位置図



■アンカーボルト位置図

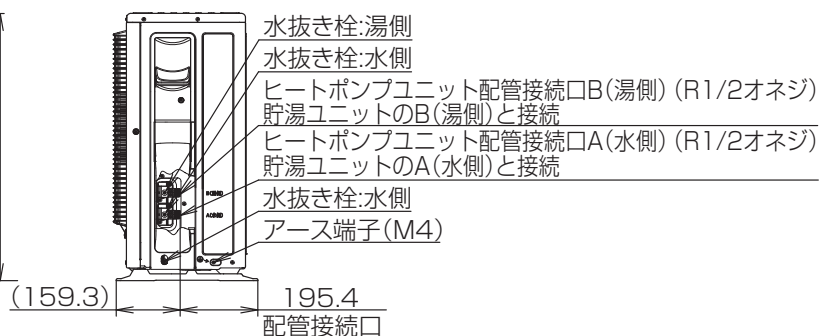
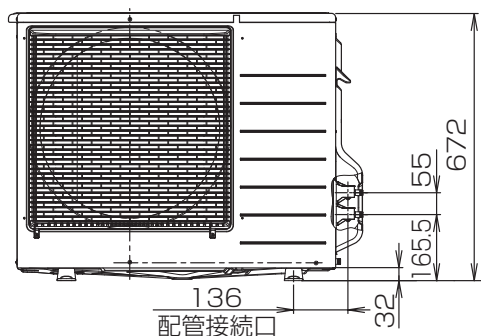
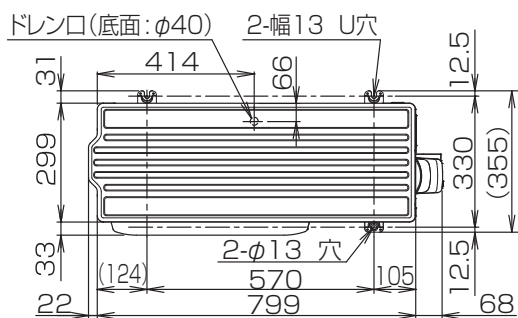


・配管位置およびアンカーボルト位置は、上面から見た図です。

ヒートポンプユニット〈全機種共通〉

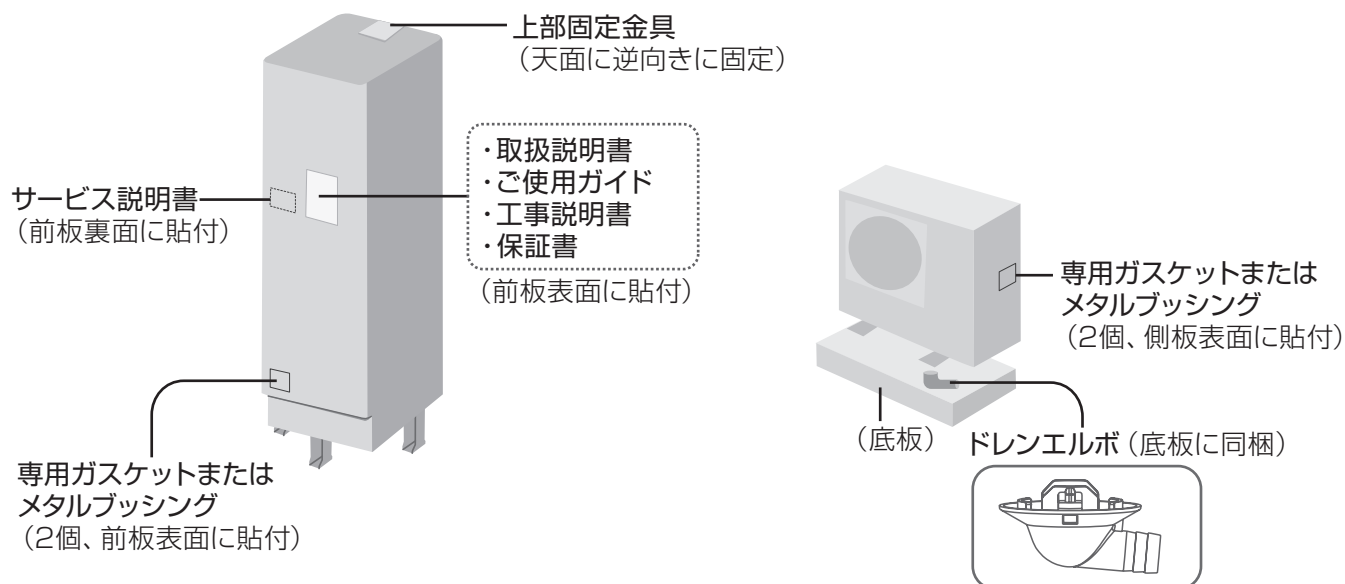
■外形寸法

〔単位：mm〕



付属品 / 別売品 / 専用別売部材

付属品



別売品

別売品のコミュニケーションリモコンが必要です。また、増設リモコンを追加することができます。

コミュニケーションリモコン (台所・浴室リモコンセット)	増設リモコン	適用機種
HE-CQFHW	HE-RQVHZ	HE-V20HQCS HE-V20HQMCS

専用別売部材

■標準施工時の部材一覧＜樹脂管配管：ユニット間配管長 5 mの部材組合わせ例＞（2024 年 8 月現在）

別売部材の詳細は、パナソニックエコキュートカタログの「専用別売部材一覧」をご覧ください。

工事名		部材名			品番	備考	参照 ページ	
据付工事		アンカーボルトセット	床・壁用セット（RC用）		AD-HEAB24RA		10	
			床・壁用セット（木質床用）		AD-HEAB25WA			
		脚部化粧カバー	鋼板製	4方向	AD-HE20VFA-C			
		樹脂置台	高さ：10 cm		CZ-UB4-C		11	
			高さ：15 cm		DAG0245W			
				DAG0245B				
排水配管工事		ドレンホース（ドレンエルボ用）			現地調達	内径φ15またはφ16	13	
		排水エルボ（トラップ機能付）			AD-HEHTR11A			
		排水配管		外径φ60	現地調達			
給水・給湯 配管工事		給水配管（架橋PE管）		16A	現地調達		14	
		給湯配管（架橋PE管）		16A				
		ユニオンアダプター		16A				
		給水側止水栓			AD-HESB67UAA			
ヒートポンプ ユニット 配管工事		ヒートポンプユニット循環配管セット ＜同梱部品＞ ・ 耐候性断熱材付架橋PE管 10A-10m ・ VVFケーブル Φ2.0x8m ・ PF管 7m ・ ユニオンアダプター 4個 ・ ドレンチューブ 1個			AD-HHSJ10PA1		16	
		CCHジョイントセット	CCHソケット、CCHジョイント、 保温材、取り付け具 など		CF-VH1	ヒートポンプユニット配管用		
ふろ配管工事		ふろ接続アダプター	フルオート	S型	AD-HQJAA-SH		18 ～21	
				L型	AD-HQJAA-LH			
		タケノコ継手セット	13A架橋PE管用	2セット入り	AD-HSSAA-PT3	(2個使用)		
		銅管アダプター	φ12.7銅管用		現地調達			
			φ15.88銅管用		2セット入り	AD-HSSAA-PF5		(2個使用)
		ふろ継手保温材セット			2個入り	AD-HETYA-Q3		
		断熱材付架橋PE管	13A×50 m		AD-HWPEA350			
			13A×10 m		AD-HWPEA310			
		漏れ検査治具			AD-HQJA-A			
		配管化粧板	架橋PE管用	□200	AD-3700PEA-M			
凍結予防工事		凍結予防ヒーター（外部配管用）			現地調達（※1）	東京特殊電線製推奨	22	
		凍結予防ヒーターセット（内部配管用）			AD-HEDF51A			
電気工事	連絡線	VVFケーブル		3心・50 m	AD-HEVFA-A50	(※2) 8 m同梱	24	
		PF管		50 m	AD-HHC16P50A	(※2) 7 m同梱		
	リモコン	シールド付リモコンコード		2心・10 m	AD-HERSA-210		25	
		リモコンコード		2心・10 m	AD-HERCA-210	増設リモコンのみ適用		
		一般浴室用リモコン取付部材			CF-RK2	ユニットバスは不要		
	200V電源	電源電線・PF管等	VVF	φ2.0／3.5 mm ²	現地調達		26	
	アース	アース棒			AD-3200B		27	

- ・（※1） 本文に記載の部材を推奨します。
- ・（※2） ヒートポンプユニット循環配管セットに同梱されています。
- ・各部材使用時は、必ず同梱の説明書に従い工事をしてください。
- ・弊社別売の専用部材以外を使用される場合、その部材メーカーにお問い合わせいただき、使用に適しているか確認してください。

据え付け場所を決める

据え付け場所を確認する

下記の条件を満たす場所に、お客様の同意のもとで据え付けてください。

- 次の場所への設置は避ける。
 - ・ 最低気温が -10°C より低くなる場所。 ・ 湿気が多い、火気・引火物の近く。 ・ 台風など、強い風が直接当たる場所。
 - ・ 海浜地域で潮風が直接当たる場所や、温泉地域など特殊な場所。機器が正常に動作しなくなるおそれがある。
- 水が流出しても支障がなく、防水・排水ができる場所に設置する。排出されるドレン水は排水溝などに導く。
- 搬入搬出、配管工事、性能維持、メンテナンスのため、周囲にスペースが確保できる場所に設置する。(P.9)

■ 貯湯ユニットの据え付け場所

- ・ 貯湯ユニットは屋外に設置してください。(屋内に設置した場合、水漏れによる拡大被害の原因になります)
- ・ 浄化槽などから強い下水ガス(硫化ガス)が出ているところには設置しないでください。トラップ機能付排水エルボを使用しても機器腐食や故障の原因になります。

■ ヒートポンプユニットの据え付け場所

- ・ エコキュートはおもに人が睡眠している深夜に運転するため、運転音による不眠等が一部報告されています。運転時はヒートポンプユニットから運転音と振動が発生するため、ご近所に近接している場合、ご迷惑をかけるおそれがあり、以下の場所への設置は避けてください。
 - ・ 寝室や窓の近く ・ 通風口など音の侵入口
 - ・ 壁や塀による反射音が室内に届く場所
- ・ 運転時の振動が気になる場合は、ヒートポンプユニットの置き台に防振ゴムを設けるなど振動を低減する対応を行ってください。
- ・ 環境基本法第16条の規定に基づく騒音に係る環境基準および各自治体の条例等を満足していること。
- ・ 運転時は吹出口から冷風が出るため、周囲に影響のある場所への設置は避ける。
- ・ ヒートポンプユニットは、積雪などが障害とならない屋外の風通しの良い場所を選定する。
- ・ テレビや無線機のアンテナから3 m以上、テレビや無線機の本体とケーブル線から2 m以上離す。
- ・ 硫化ガス成分が多い地域、機械油などの油分の多い場所には設置しない。(ヒートポンプユニットの故障の原因)
- ・ 吹出口の正面に、強風が連続的に吹き付ける場所は避ける。(ファンが高速で回転し、故障や破損のおそれ)

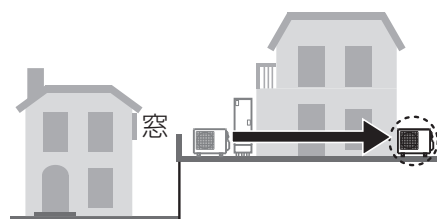
⚠ 注意



屋内に設置する場合は、必ず屋内用貯湯ユニットを設置する

(水漏れによる拡大被害の原因になります)

ご近所に近接している場合

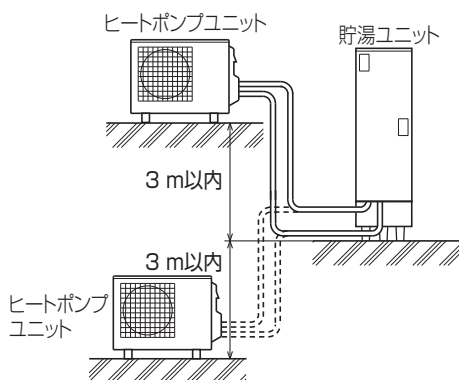


ヒートポンプユニットの運転音にご近所の迷惑になる場所への設置は避ける(ヒートポンプユニットは貯湯ユニットから離して周囲への影響のない場所に据え付けてもよい) (P.12)

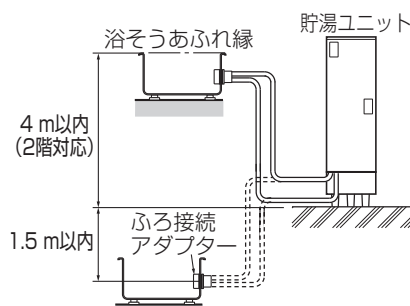
■ 貯湯ユニットとの高低差

- 高低差がある場合の配管条件を確認し、据え付け場所を決めてください。

・ ヒートポンプユニットと貯湯ユニット



・ 浴そうと貯湯ユニット



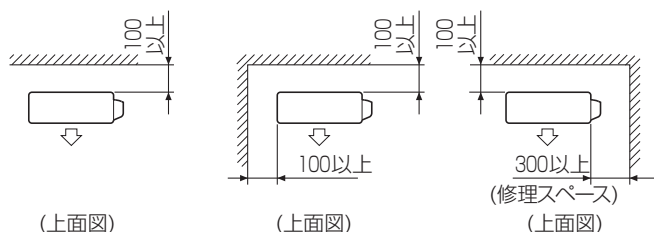
据え付けスペースを確認する

所要の据え付けスペースは、「配管工事をする前に」(P.12) も参考にして確認してください。

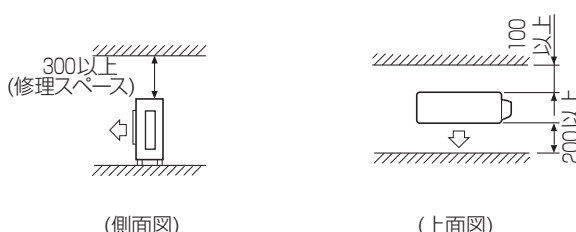
■ ヒートポンプユニットの性能維持とメンテナンス (修理) のためのスペース [単位: mm]

- 吹出側に対して前・後・左・右・上・下のうち少なくとも3方向を開放し、通風路を確保してください。
やむをえず2方向しか開放できない場合、沸き上げ能力が低下する場合があります。
- 据え付けスペースが狭いと、ヒートポンプユニット全面に霜や結露水が発生し、水濡れの原因になります。
- 周囲に壁などの障害物がある場合は、下図に従ってください。

吹出側に障害物がない場合

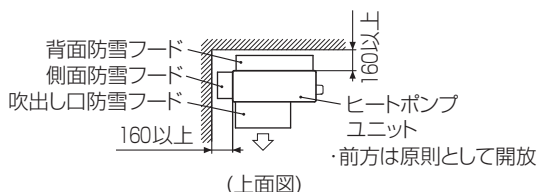


吹出側に障害物がある場合



防雪フードを装着する場合

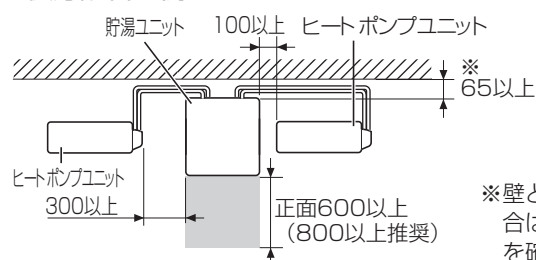
吹出し口防雪フード、側面防雪フード、背面防雪フード装着時の据え付けスペースは、右図をお守りください。



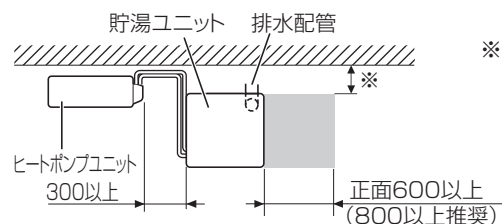
■ 貯湯ユニットとヒートポンプユニットを接続した状態でのメンテナンス (修理) のためのスペース [単位: mm]

- ヒートポンプユニットから出る風が、ふろ配管などに当たらないようにヒートポンプユニットを配置してください。(冬場、冷風が当たって凍結する原因になります)
- 貯湯ユニットの上面は 300mm 以上のメンテナンススペースが必要です。

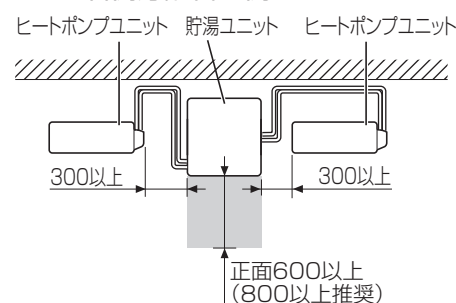
● 後方配管の例



● 貯湯ユニット横向き設置の例



● 左・右側方配管の例



お願い

- ヒートポンプ給湯機の各ユニットを設置した場所の近傍には、壁などを増築しないでください。機器の修理や取り外しができなくなる場合があります。

■ リモコンの取り付けは

- リモコンの工事説明書に従ってください。(浴室リモコンの取り付けは P.40 を参照してください)

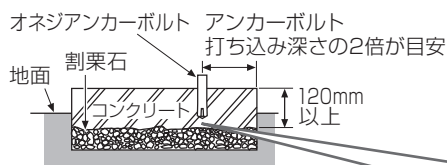
貯湯ユニットを据え付ける

- 準備:**
- ①タンクが満水になると重くなるため、床面の強度が十分か確認する。またはコンクリート床の基礎工事を行う。
・コンクリートの必要圧縮強度： 1.8kN/cm^2 (180kgf/cm^2) 以上
 - ②屋内に据え付ける場合は、必ず屋内用を設置し、防水処理をする。(例: 100mm 以上の防水堤を設ける)
 - ③床面の水平を水準器で確認する。
・タンクは水平な床面に設置してください。
 - 貯湯ユニットは、国土交通省告示第 1447 号 (平成 25 年 4 月 1 日施行) に適合した設置工事が必要です。必ず当社指定の据付工事を行ってください。この工事説明書の据え付け方法は、建築設備耐震設計・施工指針 (日本建築センター) に基づき説明しています。

1

アンカーボルトを打ち込む

■アンカー工事例



専用別売部材 (P.7) をお使いください。市販部材を使用の場合、品番、施工方法など詳細はアンカーメーカーにお問い合わせください。

水準器で水平を確認する！

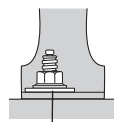
2

貯湯ユニットの木枠を外し、設置する

- 設置の直前まで木枠は外さない。(空水時は転倒のおそれ)

3

脚部をアンカーボルトで固定する

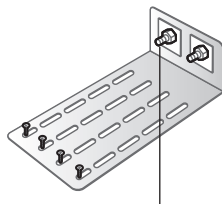


- アンカーボルトの短期許容引抜荷重 6.7kN 以上 (埋め込み深さ 60mm 以上)

M12 オネジアンカーボルト (3 か所)
アンカーボルトセット (品番: AD-HEAB24RA)

■上部を固定する場合

- ①集合住宅などの建築物へ設置施工するとき
建築物の耐震仕様に沿った施工方法を選択いただくようお願いします。
- ②上部固定金具を使用するとき



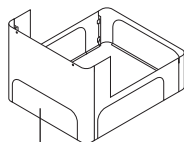
- アンカーボルトの短期許容引抜荷重 3.8kN 以上 (埋め込み深さ 45mm 以上) (引抜荷重が 3.5kN 以上に耐える壁や棧を設ける)
- 2 階以上に据え付ける場合は、固定してください。

M10 オネジアンカーボルト 2 本 (RC 壁の場合)

壁中にラス網がある場合は、電氣的に絶縁された状態になるようにしてください。
(アンカーボルトと、ラス網の接触部が過熱するおそれ)

■冬場に風の強い場所では

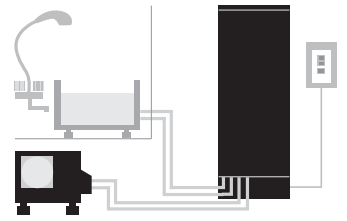
- 凍結予防のため、脚部化粧カバー (P.7) を取り付ける。(図は 4 方向の場合)



配管の引き出し (P.12) に合わせて外せます。

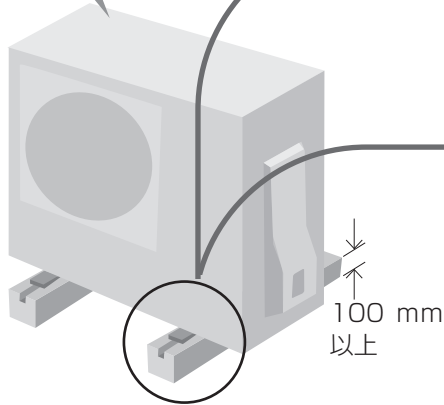
■木質床への据え付けや、壁が RC ではない場合

- 建築物の耐震仕様に沿った施工方法を選択いただくようお願いします。
- 木質床への据え付けは別売品 (品番: AD-HEAB25WA) を使用し、付属の説明書に従って固定してください。



ヒートポンプユニットを据え付ける

水準器で水平を確認する！

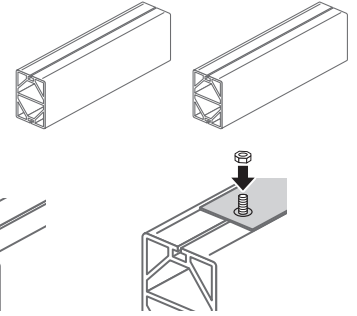


1 置き台（樹脂置台）を設置する

- 屋外の水平な床面に、高さ 100mm 以上の置き台を据え付ける。地面への直置きはしないでください。ドレン水の排水不良となり機器破損の原因になります。

2 脚部をボルトで固定する

(4 か所)



3 水準器で水平を確認する

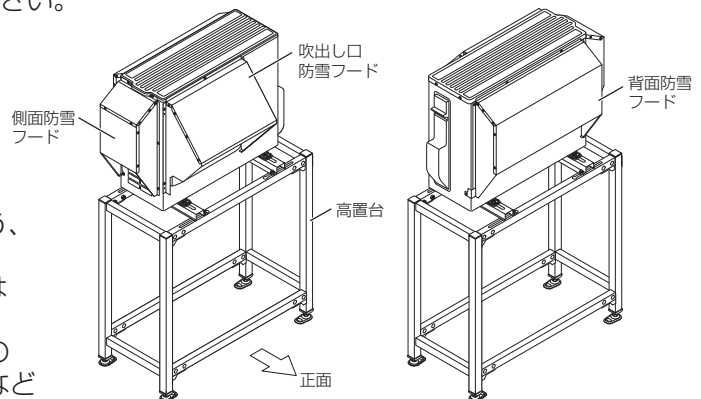
お願い

- 雨や雪が降ったときに水たまりになったり、雪の吹きだまりや落雪する場所、または下水ガスが逆流してくるような場所への設置は避けてください。

次のような場所に設置する場合、ヒートポンプユニット内部に腐食のおそれのある物質や水が浸入しないよう、必ず、高さ 100mm 以上の置き台に据え付けてください。

- ・ 枯葉、砂ぼこり、火山灰が多い場所
 - ・ 泥水が流れてくるおそれのある場所
 - ・ 凍結防止剤を散布される場所
 - ・ ペットの餌、毛、尿などが浸入する場所
 - ・ 積雪地帯では、高置き台を使用し積雪に埋もれないようにしてください。
- また、吸込口、吹出口が氷や雪で塞がれないよう、防雪屋根と防雪フードを装着してください。凍結して排水できなくなる場合、ドレンエルボは使用しないでください。

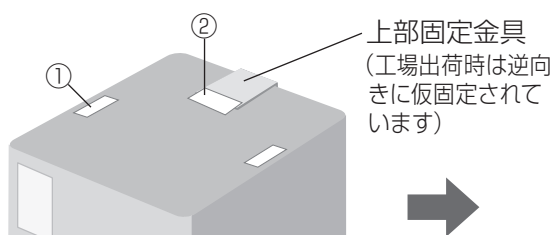
高置き台を使用する場合は、ヒートポンプユニットの質量に耐える置き台を選定し、アンカーボルト固定など転倒防止の処置を行ってください。



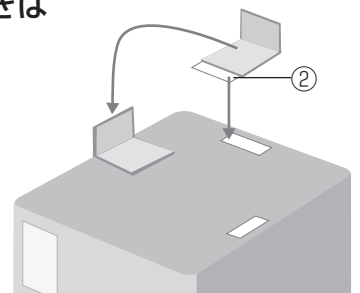
- ・ 高置き台 (品番: AD-HEO2KHHA)
- ・ 防雪屋根 (品番: AD-HESGA-RF1)
- ・ 側面防雪フード (品番: AD-HESGA-KL2)
- ・ 背面防雪フード (品番: AD-HESGA-KB2)
- ・ 吹出し口防雪フード (品番: AD-HESGA-KF2)

お願い

■ 貯湯ユニットの上部固定金具を側面に固定するときは

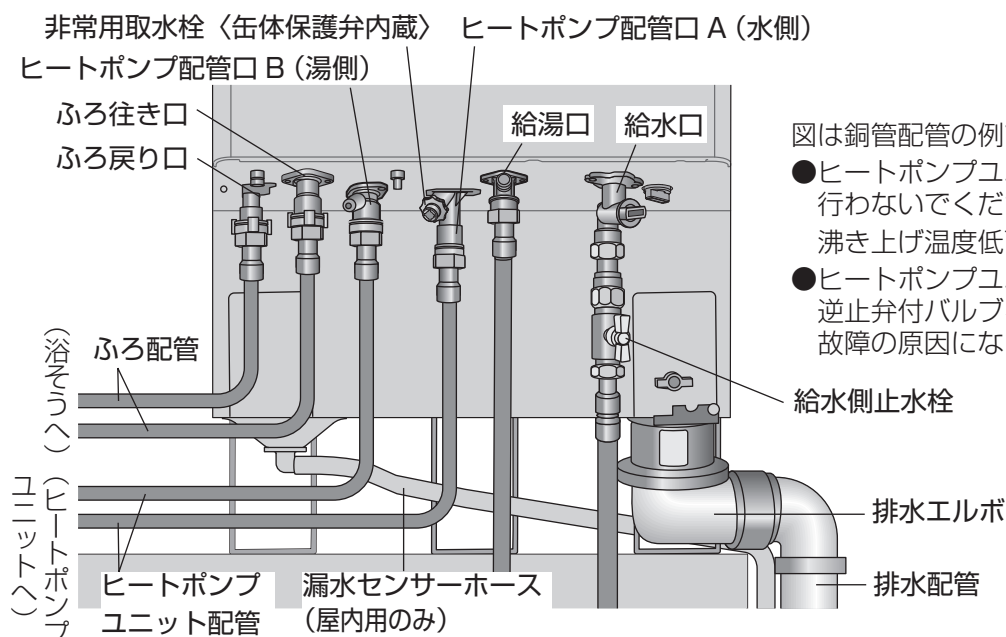


①のテープをはがす
(テープは廃棄してください)



②のテープでネジ穴をふさぐ
(確実に取り付けてください)

配管工事をする前に

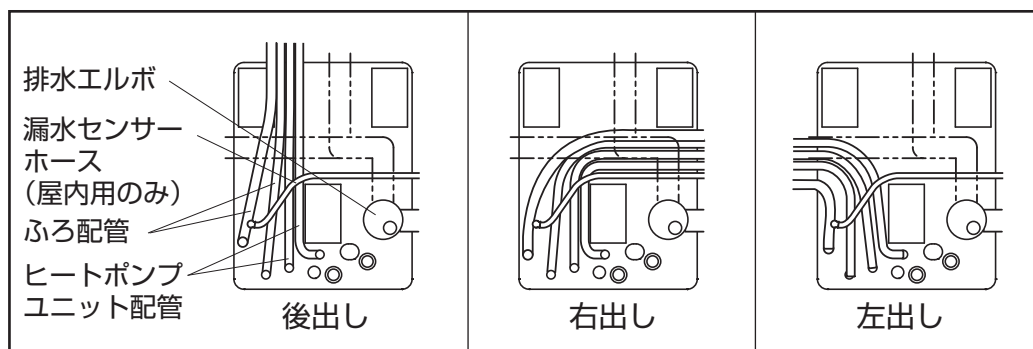


図は銅管配管の例です。

- ヒートポンプユニット配管の埋設工事は行わないでください。
沸き上げ温度低下の原因になります。
- ヒートポンプユニット配管には、逆止弁や逆止弁付バルブを接続しないでください。
故障の原因になります。

■ 配管の引き出し（施工例）

配管の引き出しは下図を参考にして配管してください。（上面から見た図）



■ 配管材料による制約条件

配管材料によって、配管長や断熱材に制限があります。必ず下表の制約条件に従ってください。（故障の原因になります）酸性水地域で使用する場合は、耐熱樹脂管の使用をおすすめします。配管部材は必ず部材メーカーにお問い合わせいただき、使用に適しているか確認してください。

< 給水・給湯配管 > (P.14)

材 料	断熱材の厚さ ^{※1}	配管の耐熱温度 ^{※1}
架橋 PE 管	16 A	10 mm 以上 60℃以上 (給湯配管)
銅管	20 A	

※1 推奨仕様。据え付け場所で定められた建築設計に従うこと。

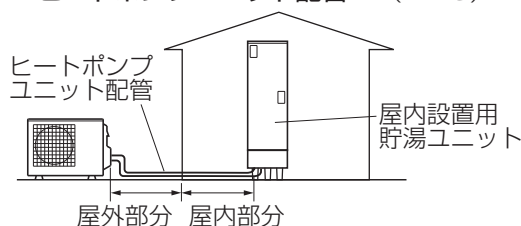
< ふろ配管 > (P.18)

材 料	配管長	断熱材の厚さ	配管の耐熱温度	金属エルボ ^{※2} の使用数 (片道)
架橋 PE 管	13 A	10 mm 以上	80℃以上	10 か所以内
銅管	φ 12.7			3 か所以内
	φ 15.88			10 か所以内

※2 銅管での配管時に使用します。

（架橋 PE 管などでエルボ式配管継手が必要な場合も同様の使用数）

< ヒートポンプユニット配管 > (P.16)



- ・配管の接続は、必ず給湯機に付属の専用ガスケットまたはメタルプッシングを使用してください。（水漏れの原因）

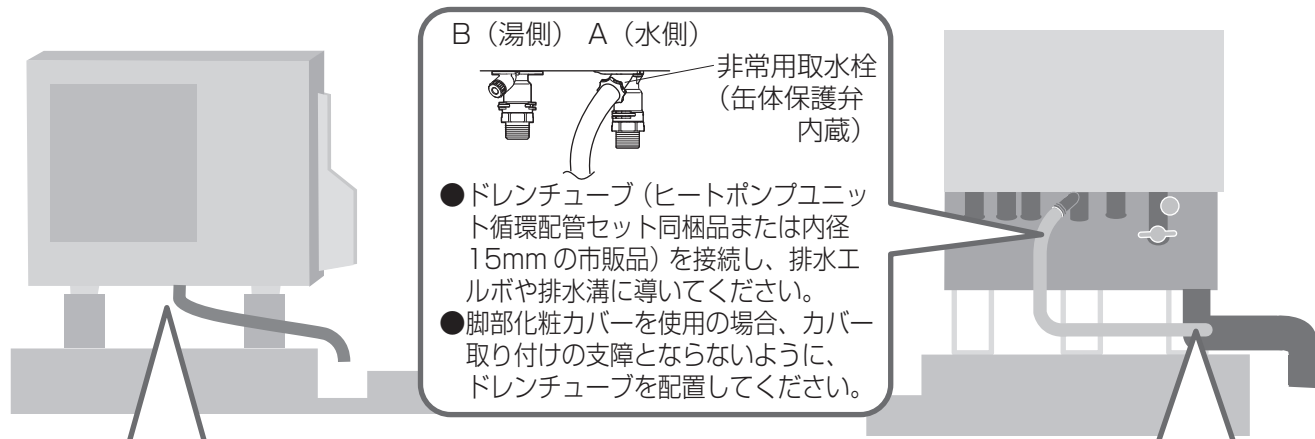
材 料	配管長	断熱材の厚さ	配管の耐熱温度	金属エルボ ^{※2} の使用数 (片道)
耐熱性架橋 PE 管の場合 10 A	標準： ～ 5 m	10 mm 以上	95℃以上	5 か所以内
アルミ三層管の場合 10 A	最大： ～ 15 m	屋外部分： 20 mm 以上		6 か所以内
銅管の場合 φ 12.7		屋内部分： 10 mm 以上		





排水処理をする

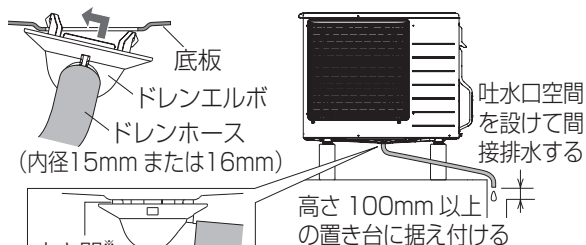
排水は、排水溝などに導くか、近くに排水溝を設けてください。(排水が確認できる場所に排水してください)



お願い

■ 確実に排水するための注意点

ヒートポンプユニット運転中は、1 分間に最大 300ml 程度のドレン水が発生します。確実に排水するため次の点を必ず守ってください。製品内部が腐食し破損するおそれがあります。



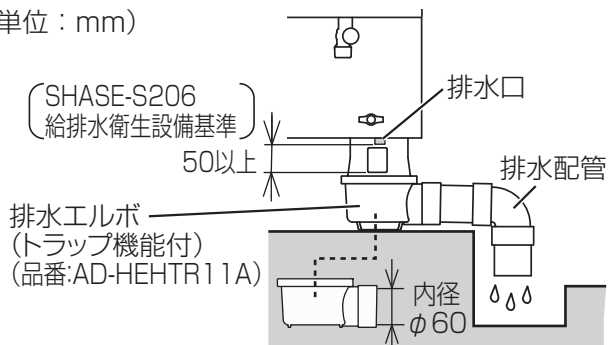
※ドレンエルボ取付時は、底板とすき間が生じます。排水が不十分な場合、そのすき間から水漏れします。

- ドレンホースは必ず下り勾配で排水溝に導く。ドレンホース置き台上に這わせないようにして、波うちのないよう常に下り勾配となっていること。
- ドレンホース出口と排水溝には必ず吐出口空間を設けて間接排水する。
- ドレンホースは貯湯ユニットや他の排水管と合流させることなく単独で配管する。(逆流のおそれあり)
- ドレンホースや塩ビ管の先端は地面に直置きしたり地中に埋め込んだりしない。
- 高さ 100 mm 以上の置き台に設置し、地面への直置きはしない、ドレンホースが確実に下り勾配になるよう、必要に応じて置き台を高くする。
- やむを得ず横引きする場合は、高置き台を使用し、内径 15 mm 以上の塩ビ管で下り勾配 1/50 以上にする。異物やドレン水の凍結で管内が詰まらないよう対策してください。
- ドレンホースが外れないよう注意してください。

■ 漏水処理をする (屋内用のみ)

漏水センサーホース (P.12) を排水溝に導いてください。(漏水センサーホースは貯湯ユニットに接続されています)

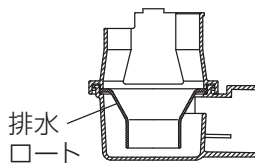
(単位: mm)



- 排水経路には、必ず 50 mm 以上の吐水口空間を設けて、間接排水してください。
- 25 L / 分以上の排水ができる配管であること。
- 排水配管は、90 °C 以上の耐熱を有する材料を使用してください。

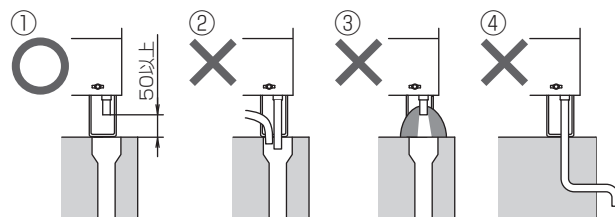
■ 下水ガスが逆流するおそれがある場合

排水ロートを取り付けたまま設置してください。下水ガスによる排水配管および製品の腐食を防止します。



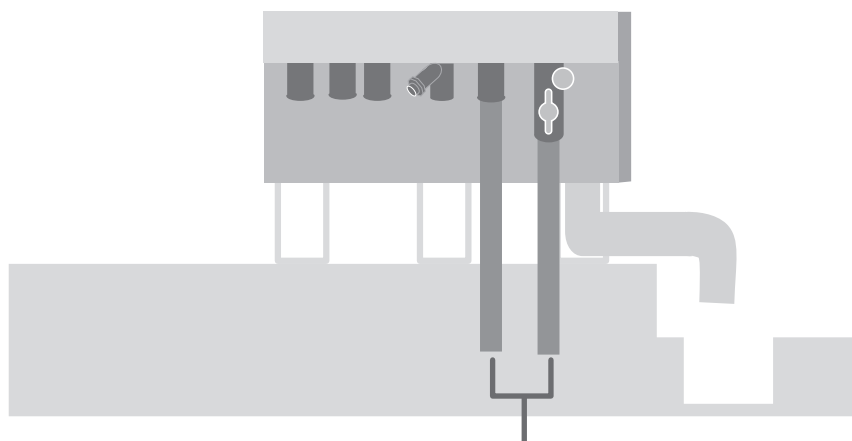
- 二重封水 (トラップ) になる場合は、必ず排水ロートを取り外してください。水が流れなくなります。

■ 排水口直下に排水する場合

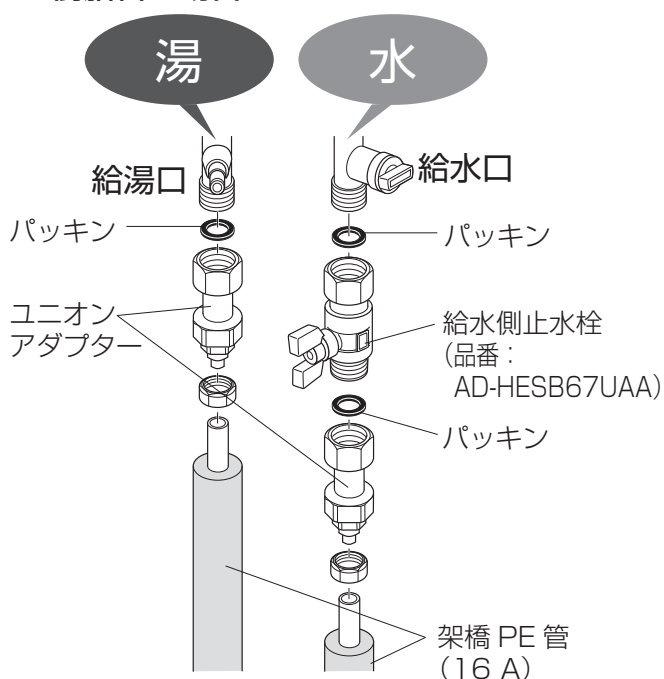


- ①排水口は必ず 50mm 以上の距離を設け、開放してください。
- ②排水配管を排水マスの中に入れてください。
- ③排水口をパテなどで埋めないでください。
- ④下方延長は間接排水した後、延長してください。(負圧によりタンクが破損するおそれ)

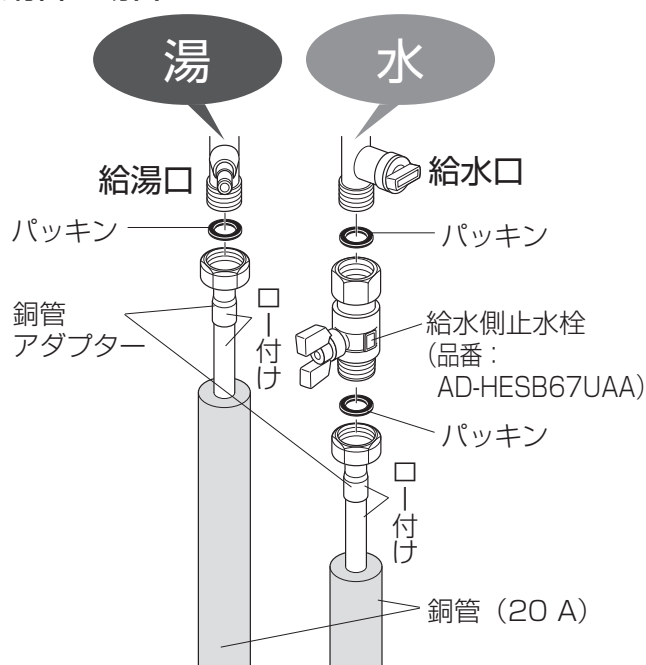
給水・給湯配管する



■ 樹脂管の場合



■ 銅管の場合



お願い

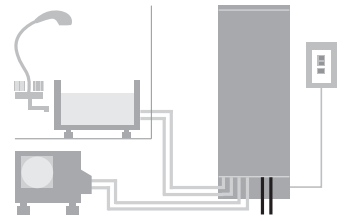
- 給水側止水栓は専用別売部材をご使用ください。その他の配管および配管部材は現地調達してください。
- 架橋 PE 管は、断熱材などで必ず保護し、接続部などを絶対に露出しないてください。
(紫外線劣化による水漏れ防止)
- 既設の配管で老朽化している場合は使用しないでください。
- 配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。(故障の原因)
- 給水に砂などの異物が混入していないことを確認してください。(故障の原因)
- 配管接続にはパッキンを各 1 枚ずつ使用します。2 枚重ねなどで接続しないでください。

〈給水配管〉

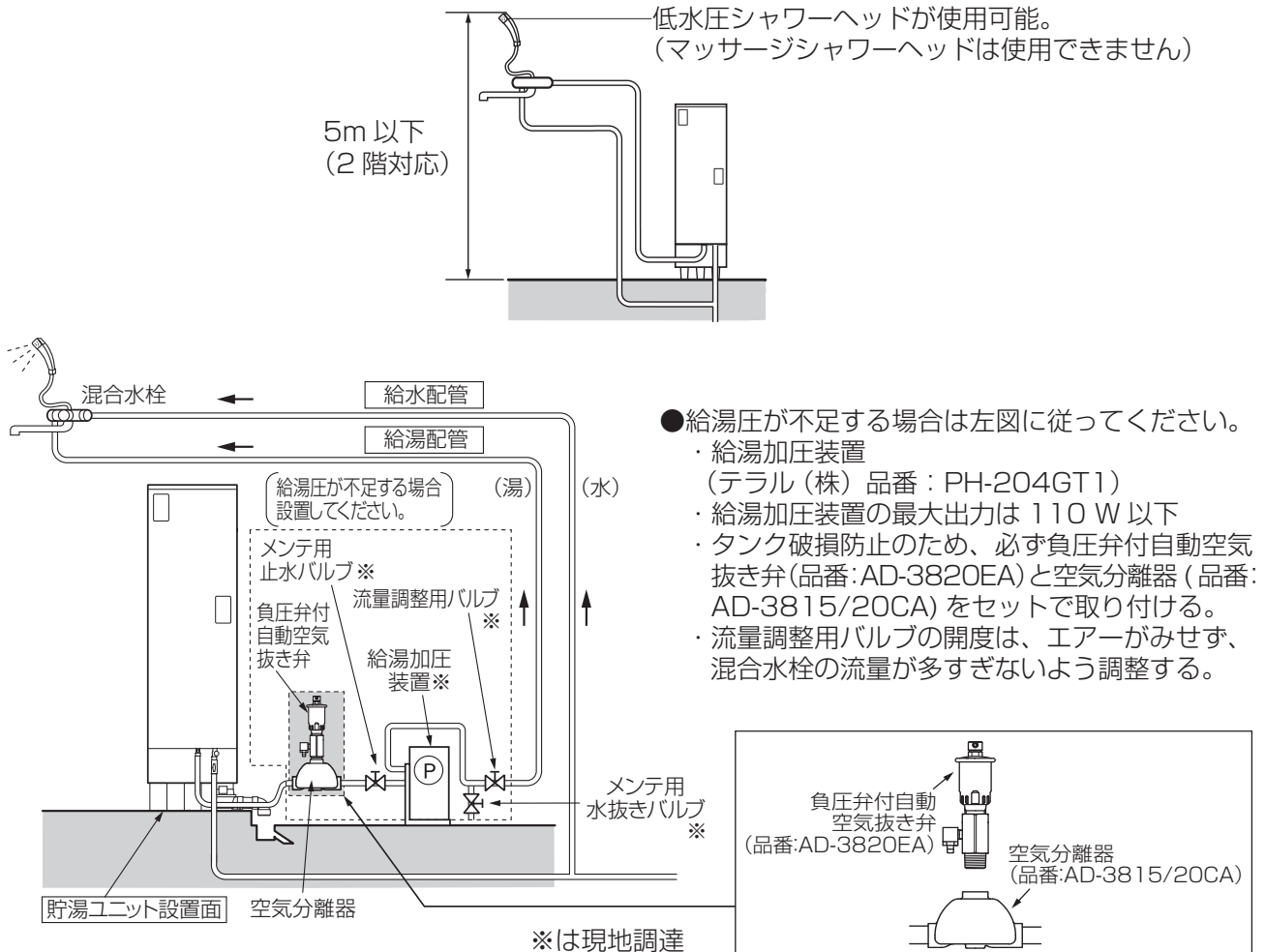
- 給水側止水栓 (品番: AD-HESB67UAA) は必ず設けてください。長期間使用しないときの水抜き、タンク内の掃除のとき必要です。
- 配管接続部のシール材は耐食性のある材料を使用してください。

〈給湯配管〉

- 配管接続部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。



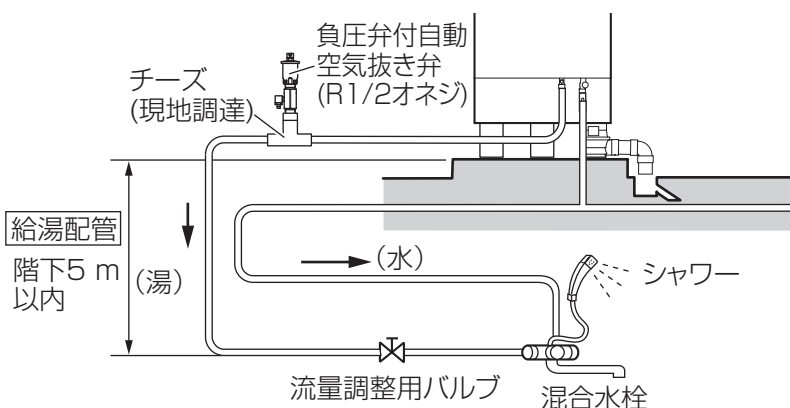
2 階、3 階給湯の場合



お願い

- 弊社別売の専用部材以外を使用される場合、その部材メーカーにお問い合わせいただき、使用に適しているか確認してください。
- 給湯加压装置は、必ず接続配管の入口側に負圧弁付自動空気抜き弁を取り付けてください。
(給湯圧によりタンク破損のおそれ)
給湯加压装置は、メーカー品番によって配管の位置が異なりますのでご注意ください。

階下給湯の場合

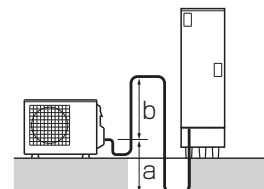


- 貯湯ユニット設置面より、下方 5m 以内としてください。
- タンク破損防止のため、必ず以下の部材を取り付けてください。
 - ・負圧弁付自動空気抜き弁
(品番: AD-3820EA)
 - ・流量調整用バルブ (現地調達)
- 流量調整用バルブの開度は、エアーがみせず、混合水栓の流量が多すぎないように調整してください。

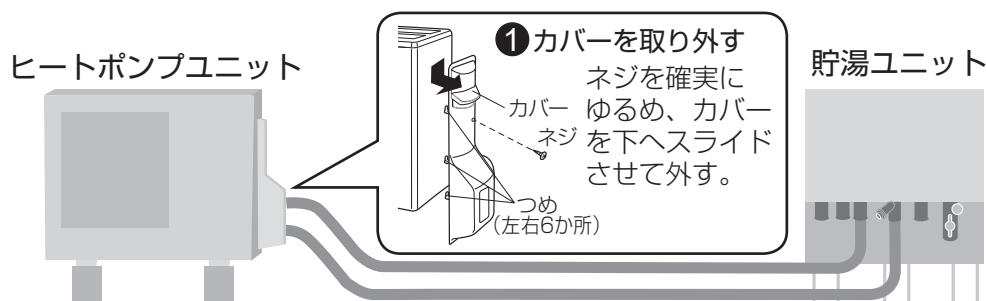
ヒートポンプユニット配管する

配管部材を選定して接続する

- パナソニック専用別売部材から架橋 PE 管、アルミ三層管、複層フッ素樹脂ホースを選び使用してください。異なる部材を使用する場合は、必ず部材メーカーにお問い合わせいただき、使用に適しているか確認してください。ツインチューブ、ふる用配管、ゴムホースなど指定品以外は使用しないでください。フレキ管は接続の位置合わせが必要な場合のみ 50 cm 以下で使用してください。（機器の故障、水漏れ拡大、タンクに異物が混入するなど不具合の原因）
- 配管材料による制約条件 (P.12) を守り配管してください。
- 鳥居配管の高低差は、 $a+b < 3 \text{ m}$ 1 山までとしてください。
- 配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。
- B（湯側）、A（水側）の配管を間違えないように接続してください。（運転が停止します）
- 作業スペースに余裕がない場合は、配管接続に CCH ジョイントセット（品番：CF-VH1）の使用を推奨します。



図は架橋 PE 管の施工例です。ヒートポンプユニット循環配管セット(品番:AD-HHSJ10PA1)で説明しています。

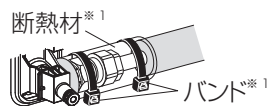


ヒートポンプユニット側

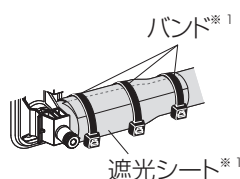
③ 遮光する

- (水漏れがないことを確認後)
- 架橋 PE 管は絶対に露出させない。（紫外線による劣化、水漏れを防止）

- ① 配管の根元に断熱材をバンド(各2本)で固定し、断熱材の端や継ぎ目を密着させる。

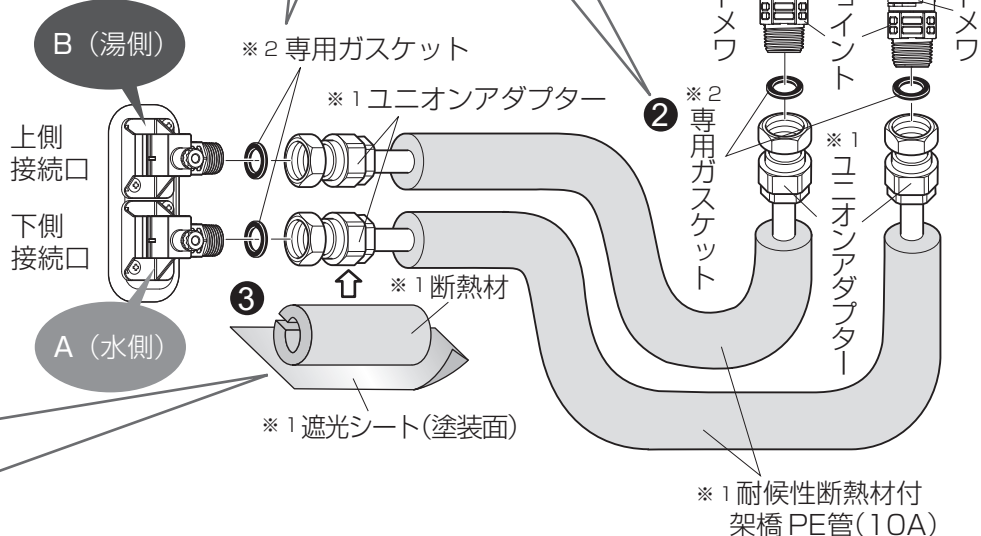


- ② 遮光シートの塗装面を外側にして全周に巻き付け、露出や位置ズレがないようバンド(各3本)とビニールテープなどで固定する。



② PE 管を接続する

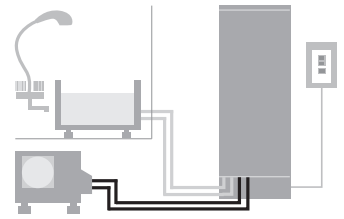
- 専用ガスケットを配管のユニオンナットにセットして、ネジ部をアタリがでるまでまっすぐに手締めする。



※1 ヒートポンプユニット循環配管セットに同梱。(P.7)

※2 ヒートポンプ配管口 A、B への取り付け専用。

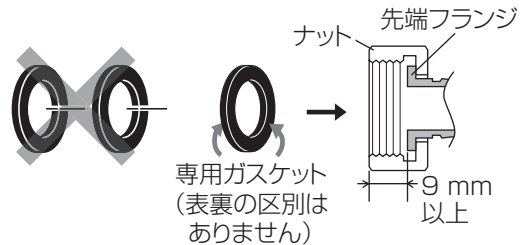
製品に付属の専用ガスケットまたはメタルプッシングを使う。締め付けて変形した部品は使用しない。



配管のナットを締め付ける

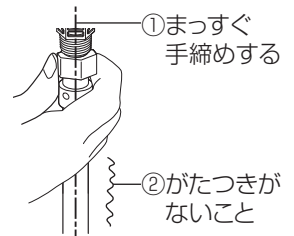
■ ヒートポンプユニット配管に専用ガスケットを正しく取り付ける

- 2枚重ねはしないでください。(右図参照)
- 配管部材を現地調達される場合は、ナット部の深さが 9 mm 以上 (右図) のものを使用してください。(ネジの破損、水漏れの原因)
- ヒートポンプユニット配管は、90 °C の高温になる場合があります。接続部には必ず、製品に付属の専用ガスケットを使用してください。(高温で劣化し水漏れの原因)
 - ・ 配管にパッキンが装着されている場合はこれを使用せずに取り外し、シール面の異物をすべて取り除いてから、製品に付属の専用ガスケットまたはメタルブッシングを取り付けてください。



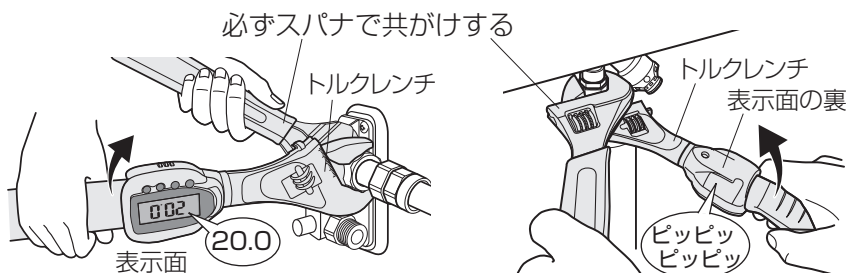
■ 配管のナットをトルクレンチで正しく締め付ける

- ① ネジ部をアタリが出るまでまっすぐに手締めする。
- ② 配管を軽く引っ張り、ナットと配管の先端フランジが密着し、がたつきがないことを確認する。
 - ・ 配管ががたついたまま締めると、斜め締めとなりネジの破損、水漏れ不具合となります。
- ③ トルクレンチを使って 20 N・m (15 ~ 25 N・m) で締め付ける。



ヒートポンプユニット側

貯湯ユニット側

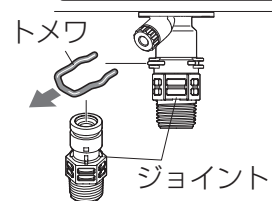


目標トルク値 (20 N・m) を設定し、締め付ける。
表示面が見えない場合は、ブザーなどで確認する。

お願い

- 配管のナットを締め付けた後、＜試運転する＞「①タンクを満水にする」(P.28) に従い配管接続部からの水漏れがないことを確認してから、配管接続部根元の断熱および架橋 PE 管の遮光作業を行ってください。
- ヒートポンプユニットは配管したまま据付位置を移動させないでください。(水漏れの原因)
- 貯湯ユニット側のトメワおよびジョイントを取り外して配管する場合は、ジョイントを O リングの傷付や異物の付着がないように元どおり接続し、確実にトメワを装着してください。(水漏れの防止)

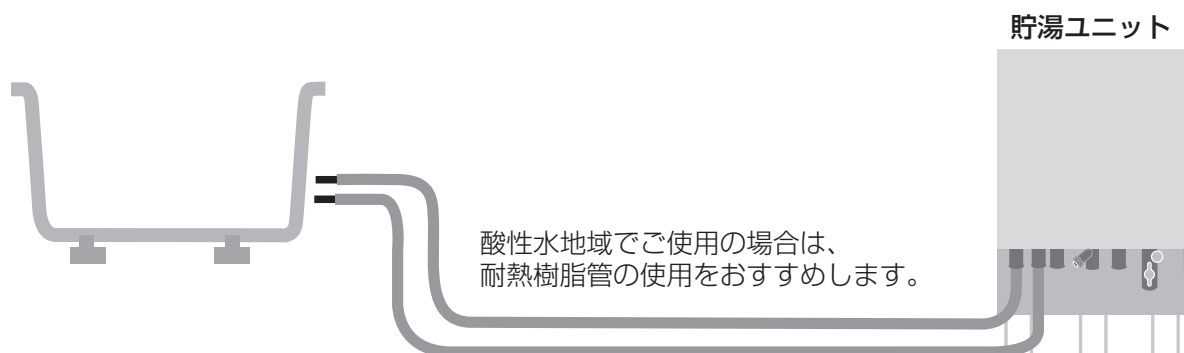
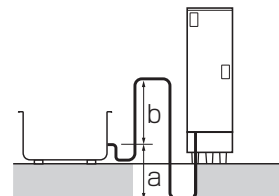
貯湯ユニット側



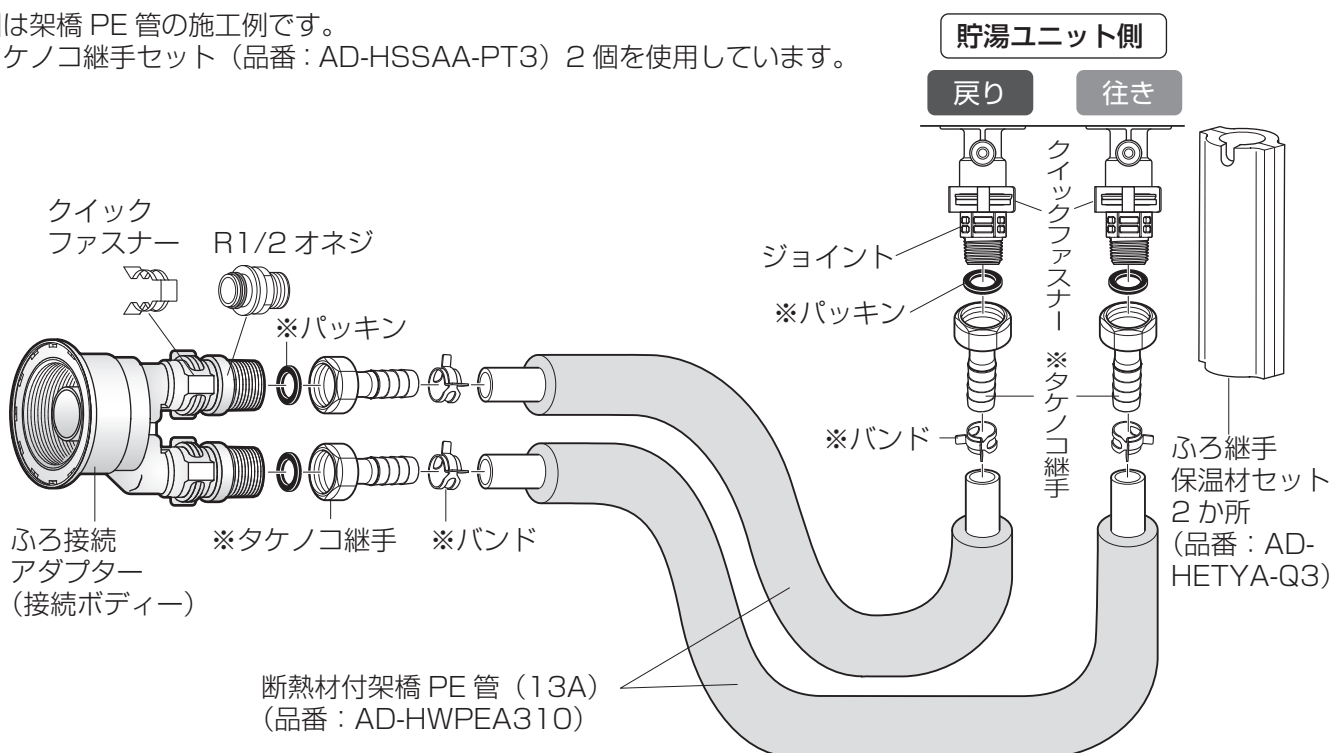
ふる配管する

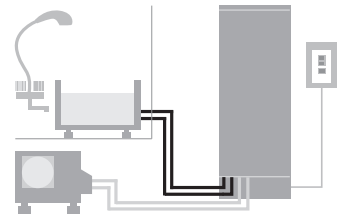
配管部材を選定して接続する

- ふる接続アダプターは、パナソニック専用別売部材を使用してください。（ふる自動機能不具合の原因）
その他の部材（架橋 PE 管など）もパナソニック専用別売部材を使用してください。異なる部材を使用される場合は必ず部材メーカーにお問い合わせいただき、使用に適しているか確認してください。
- 配管材料による制約条件（P.12）を守り配管してください。
- 架橋 PE 管は露出させないように必ず遮光するテープを巻いてください。
（紫外線劣化による水漏れの原因）
- 鳥居配管の高低差は、 $a+b < 3 \text{ m}$ 1 山までとってください。
- 配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。
- ふる配管の途中にフィルターを取り付けしないでください。
（短時間でフィルターが詰まり、お湯が流れなくなる）
- 配管は下図のように接続してください。（配管に極性はありません）



図は架橋 PE 管の施工例です。
タケノコ継手セット（品番：AD-HSSAA-PT3）2 個を使用しています。

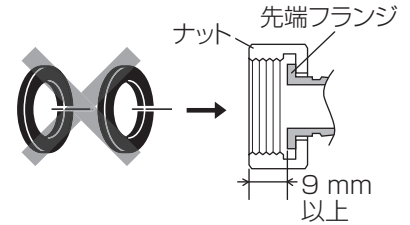




配管のナットを締め付ける

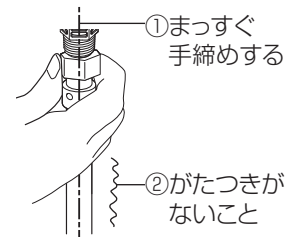
■ 各部材に同梱されているパッキンを正しく取り付け

- 配管を現地調達される場合は、ナット部の深さが 9 mm 以上の部材を使用してください。
- 配管接続にはパッキンを各 1 枚ずつ使用します。2 枚重ねなどで接続しないでください。

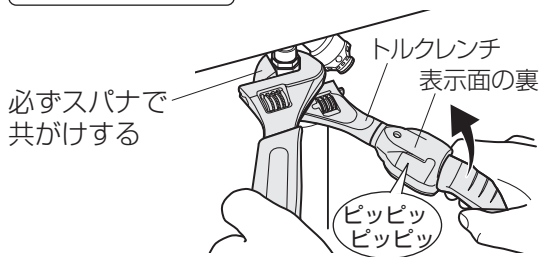


■ 配管のナットをトルクレンチで正しく締め付ける

- ① ネジ部をアタリが出るまでまっすぐに手締めする。
- ② 配管を軽く引っ張り、ナットと配管の先端フランジが密着し、がたつきがないことを確認する。
 - ・ 配管ががたついたまま締めると、斜め締めとなりネジの破損、水漏れ不具合となります。
- ③ トルクレンチを使って 20 N・m (15 ~ 25 N・m) で締め付ける。



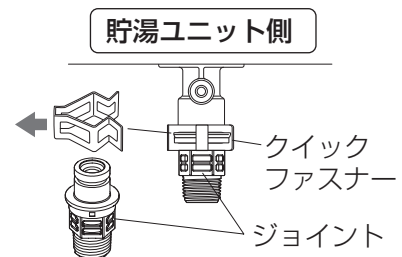
貯湯ユニット側



目標トルク値 (20 N・m) を設定し、締め付ける。
表示面が見えない場合は、ブザーなどで確認する。

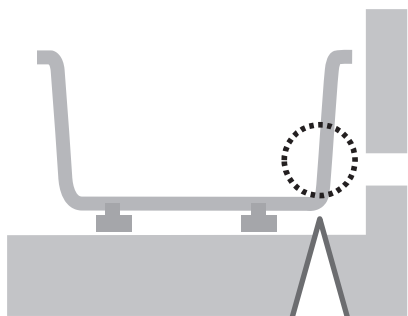
お願い

- 貯湯ユニット側のクイックファスナーおよびジョイントを取り外して配管する場合は、ジョイントを O リングの傷付や異物の付着がないように元どおり接続し、確実にクイックファスナーを装着してください。(水漏れの防止)



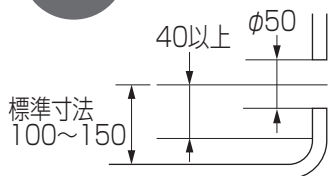
ふろ配管する (つづき)

浴そうに穴を開ける



(単位：mm)

1 穴を開ける (1 か所)



ふろ接続アダプター
取付用穴

- 取付位置が高いと、お湯はり最少湯量 (100L) が設定できません。

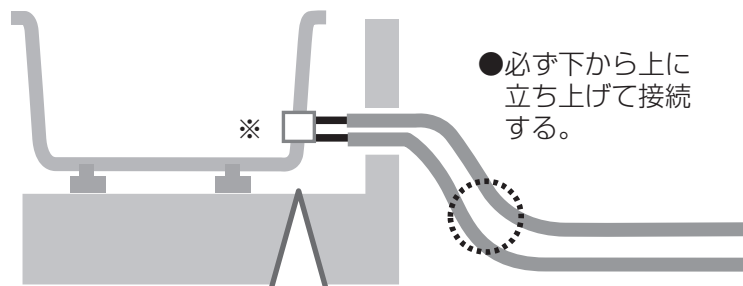
ステップ付き浴そうの場合



ステップ面

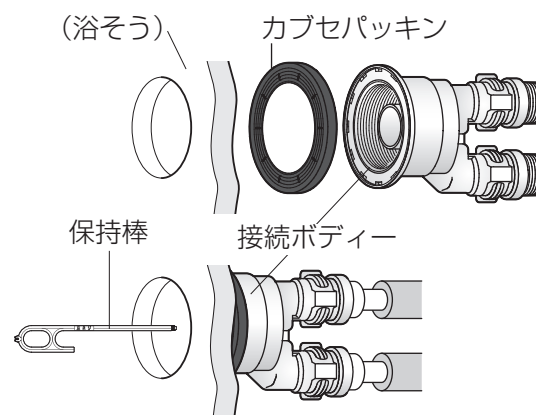
- 必ず、ステップ面より下に穴を開けてください。
(お湯があふれたり、温度むらが発生)

浴そうに



- 必ず下から上に立ち上げて接続する。

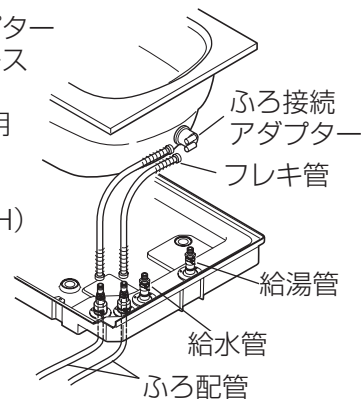
1 保持棒で、接続ボディーを浴そうに引き寄せる



ユニットバス (床立ち上げ) の場合

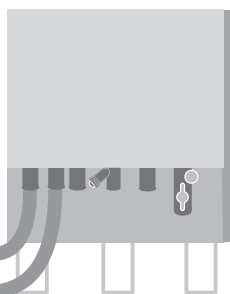
浴そうにふろ接続アダプターを取り付け、ユニットバス床間の配管をする

- 詳細はユニットバスの施工説明書をご確認ください。
- 水漏れ防止のため「防水パン」の取り付けを推奨します。
- ふろ接続アダプターは、取付スペースが狭いため横出し (L 型) を使用してください。
(品番：AD-HQJAA-LH)
- フレキ管は現地調達してください。

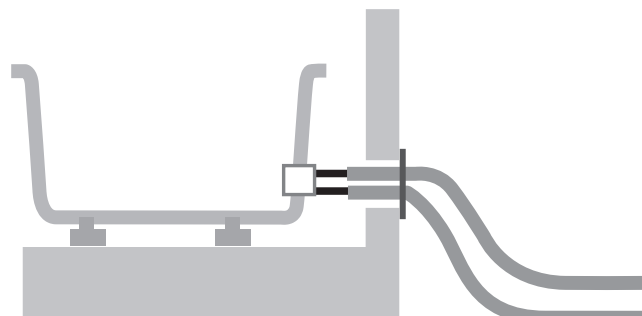
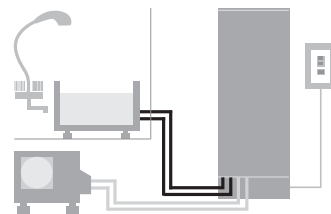


配管する

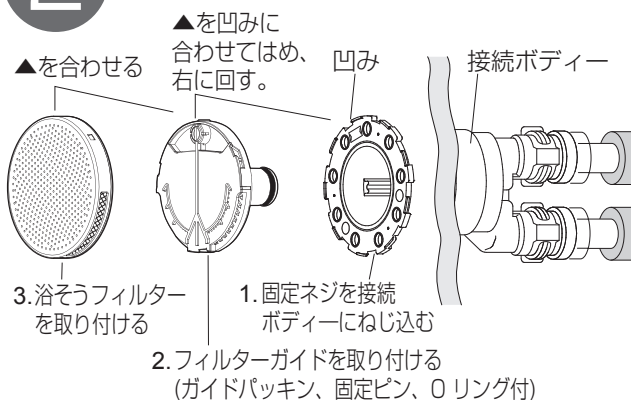
※ふろ接続アダプターは、必ず無極性の専用別売部材をご使用ください。(十分な性能が得られません) 接続は同梱の説明書に従ってください。



仕上げる

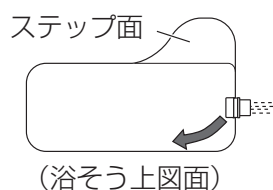


2 浴そうの内側から固定する

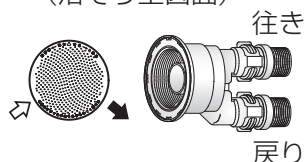


●フィルターガイドの「▲」が最も上になる位置で固定ネジに取り付けてください。

ステップ付き浴そうの場合 (ステップ面が側面のとき)



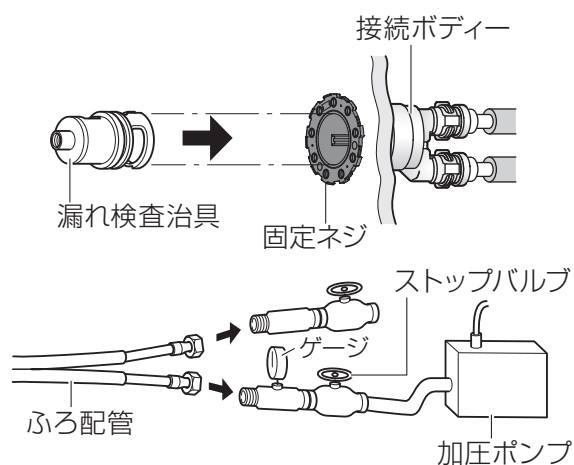
●必ず、ステップの反対側にお湯が吹き出すよう、取り付けてください。(温度むらが発生)



※専用のふろ接続アダプターは、中心に近い接続口に「往き」管を接続すると、右側からお湯が吹き出します。

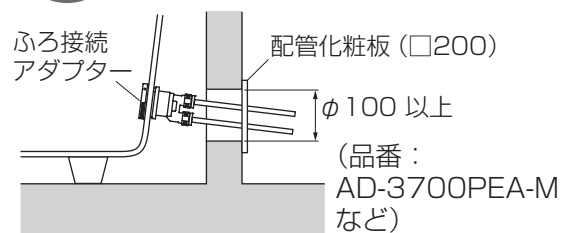
1 水漏れ検査をする

- 専用の漏れ検査治具で漏れ検査を行ってください。(品番：AD-HQJA-A)
検査を行わないと、エアがみして水位が狂うことがあります。
- 漏れ検査での加圧作業は、圧力を上げ過ぎないでください。(故障の原因)
水圧 200 kPa 以下



2 配管化粧板で仕上げる

(単位：mm)



お知らせ

- 浴そうを入れ替えたときは、ふろ試運転が必要です。(P.32)

保温・凍結予防工事する

保温工事をする

- 断熱材で配管と配管構成部材に十分な保温工事を施してください。
断熱材の厚さは10mm以上または20mm以上。(P.12)
- 断熱材がないと、配管が凍結します。

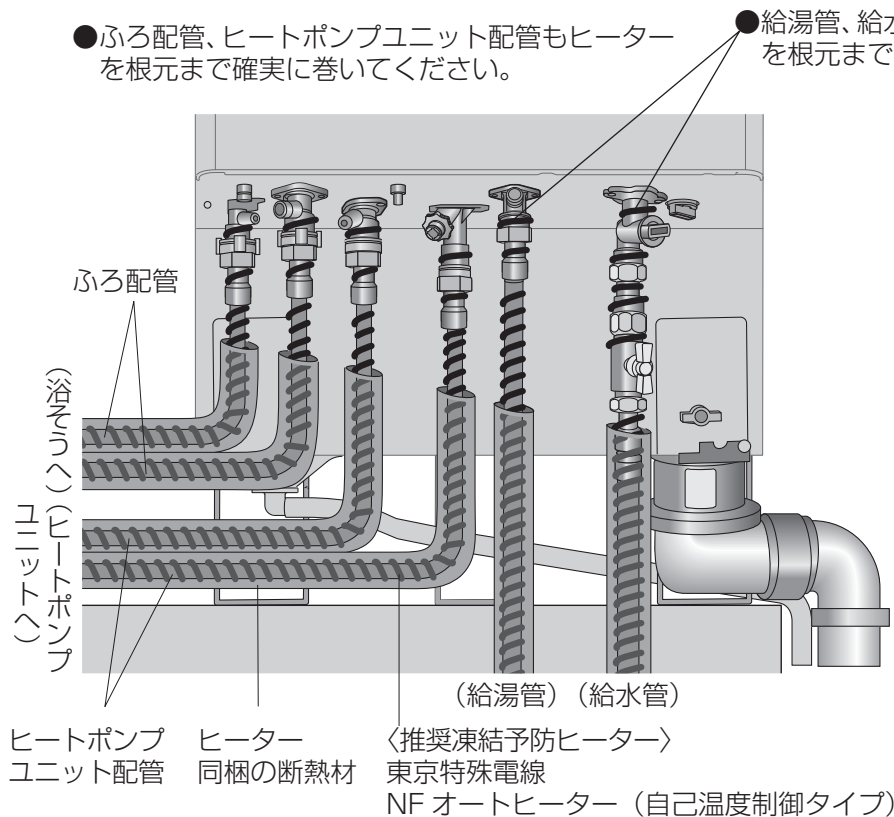
凍結予防工事をする

保温工事をしていても周囲温度が0℃以下になると凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので、凍結予防ヒーターを巻いて加温してください。
(ヒーターの工事説明書に従い施工してください)

■ 銅管配管の場合

図は銅管配管の凍結予防工事例です。

- 凍結予防ヒーターを銅管に直接巻いた後、ヒーターの上に、ヒーター同梱の断熱材を巻いてください。



⚠ 警告

- ❗ 凍結予防ヒーターは凍結予防ヒーターに同梱の工事説明書に従って、施工する防水性に適合する屋外用コンセントを使用し、ヒーターは点検と交換ができるように取り付ける。電源コードやヒーターの固定は、ねじり、折り曲げ、束ね、重ね巻き、密着巻きをしない（火災や感電、水漏れの原因になります）

お願い

- 全系統の水漏れ確認をしてください。
配管接続部は、十分に確認してください。
(作業や輸送によるゆるみのおそれ)
- ヒートポンプ配管は、A—A、B—Bを独立して工事してください。
- 樹脂管は太陽光などの紫外線により劣化し、水漏れします。
接続部などが露出しないようにしてください。
- 地域によって給水器具の保温・凍結予防工事の条件は異なりますので、認定水道工事業者が各自治体に確認して工事を行ってください。給水管、給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプユニット配管のすべてに同様の保温・凍結予防工事が必要です。

■ 樹脂管配管の場合

- 樹脂管断熱材の上に凍結予防ヒーターを巻いた後、ヒーター同梱の断熱材を巻いてください。

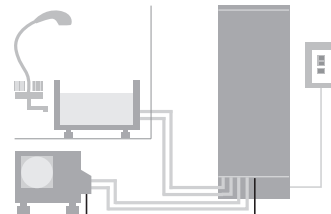
お願い

- ヒーターは複数本使用します。
適当な位置にコンセントを設けてください。

■ 冬場に風の強い地域や、局所的に寒波の来る地域、山間部の場合

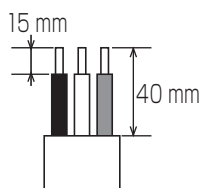
- 貯湯ユニット内部の配管の凍結を防ぐため、別売の「凍結予防ヒーターセット」(品番：AD-HEDF51A)をご使用ください。
- 脚部化粧カバーを取り付けて、配管に風が当たらないようにしてください。(P.10)
- 鋼板製の脚部化粧カバーは、凍結予防ヒーターの表面と金属端面が接触しないよう十分に間隔を確保してください。

連絡配線する



ヒートポンプユニットと貯湯ユニットを連絡する

準備：連絡線を加工しておく。
(心線のむき代寸法が 15 mm 以下では、接触不良の原因)



※ヒートポンプユニット循環配管セット
(品番：AD-HHSJ10PA1) に同梱
されています。



●連絡線接続部近傍には、原寸大で
むき代 15 mm を表示しています。

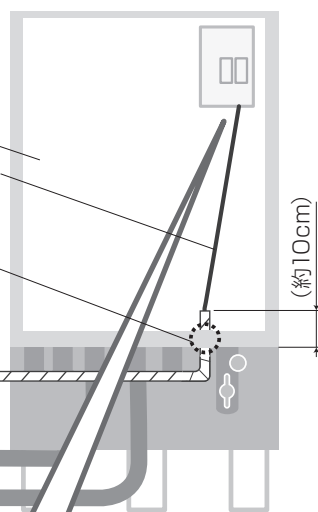
●前板はネジを外し、
手前に引いて外す。

※連絡線 VVF ケーブル (3 心 ϕ 2.0)

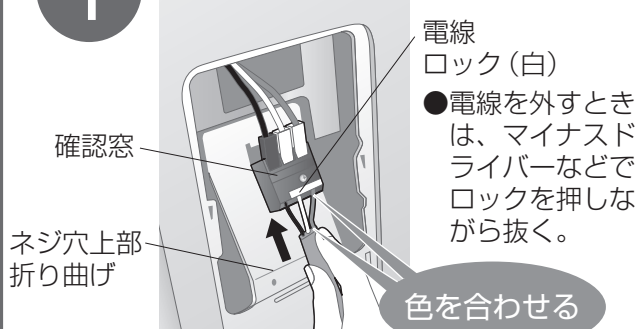
●右側の電線貫通穴
(ブッシング付) を通す。
ブッシングは外さないでください。
配線時、外れたときは元の位置に
取り付けてください。

※ PF 管

●貯湯ユニット内は約 10cm
保護してください。



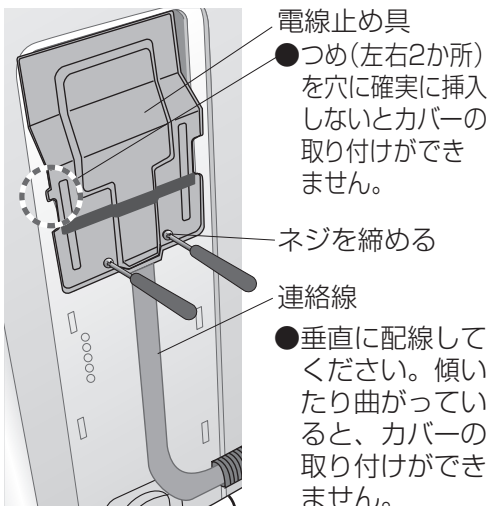
1 奥まで差し込む



●確認窓で心線を確認する。
(挿入不足のときは、接触不良で過熱して発煙、
発火のおそれ H90 エラー表示)

●確実な固定のため、2 重被覆がネジ穴上部折り
曲げより上にあること。

2 連絡線を固定する



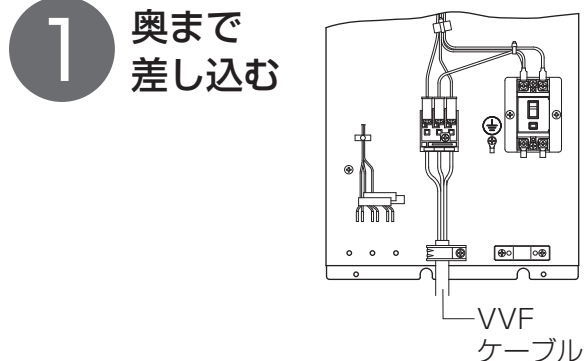
●電線止め具
を穴に確実に挿入
しないとカバーの
取り付けができ
ません。

●ネジを締める

●連絡線

●垂直に配線して
ください。傾い
たり曲がってい
ると、カバーの
取り付けができ
ません。

1 奥まで差し込む



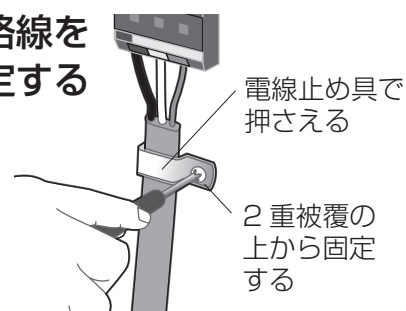
色を合わせる

●電線を外すと
きは、マイナ
スドライバー
などでロック
を押しながら
抜く。

●確認窓で心線を確認する。
(挿入不足のときは、接触不良で過熱して発煙、
発火のおそれ H90 エラー表示)

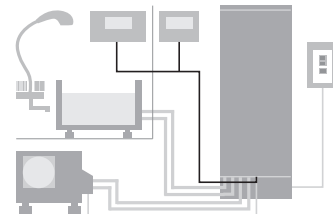
●連絡線の差し間違いがないか、色合わせを確認する。

2 連絡線を固定する



●電線止め具で
押さえる

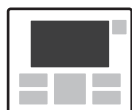
●2 重被覆の
上から固定
する



貯湯ユニットにリモコンコードを接続する

準備：リモコン側の接続は、リモコンの工事説明書に従ってください。

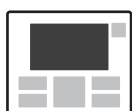
増設リモコン



浴室リモコン

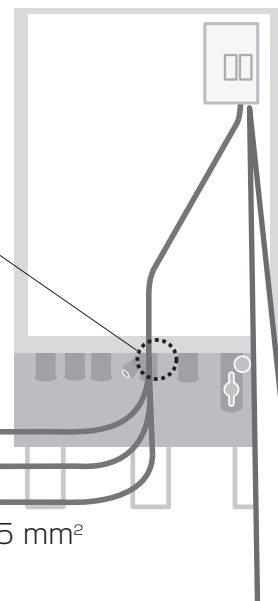


台所リモコン



●中央部の電線貫通穴（ブッシング付）を通す。ブッシングは外さないでください。配線時、外れたときは元の位置に取り付けてください。

シールド付リモコンコード 2心 0.5 mm²
(品番：AD-HERSA-210)



準備：リモコンコードを加工する

●心線のむき代 5 mm

1 各リモコンコードを かして接続する

●必ずラベルの表示に従って接続してください。

2 アース線をリモコン アース用端子ネジで 固定する

リモコンアース用端子ネジ

3 リモコンコードを 固定する

●コード止め具および固定ネジはリモコンセットに同梱しています。

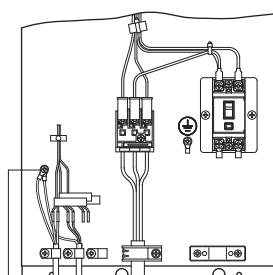
コード止め具
(説明のため、実際の配置とは異なります)
2重被覆の上から固定する

(リード線の色)

増設用 (青)

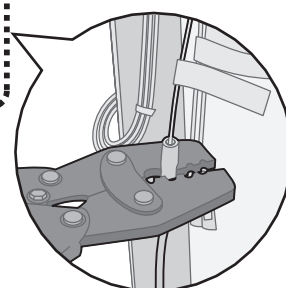
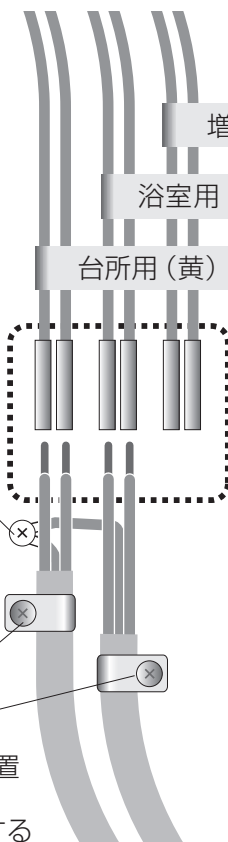
浴室用 (橙)

台所用 (黄)



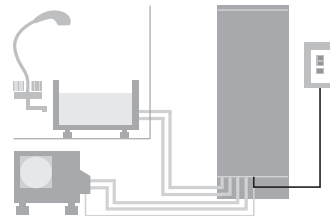
シールド付
リモコンコード

—リモコンアース用端子ネジ



●接続端子より心線がはみ出さないようにしてかしてください。

- シールド付リモコンコードを使用してください。(増設リモコンはシールドなしのリモコンコードも使用できます。)
- リモコンコードは短絡しないように接続してください。短絡しているとリモコンが点灯しません。この場合は配線処置後、漏電しゃ断器を切・入してください。
- AiSEG 用エネルギー計測ユニットを接続する場合は、増設用 (青) に接続してください。その場合、増設リモコンは接続できません。



200 V 電源工事をする

「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、電気工事士が行ってください。
(この機種は単相 200V 電源工事が必要です)

準備：必ず、所定の圧着工具で電源電線に圧着端子を確実にかしめる。
(端子は漏電しゃ断器に取り付けられています)

圧着端子

7mm
40mm

電源電線 (2 心)

・ ϕ 2.0 (2.6) VVF ケーブル、または
3.5 (5.5) mm² キャブタイヤケーブル
(VVF ケーブルには PF 管等が必要です)

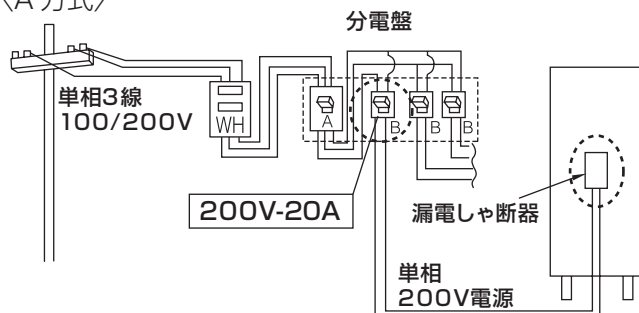
- リモコンコードと近接しないようにしてください。
- 右側の電線貫通穴 (ブッシング付) を通す。ブッシングは外さないでください。配線時、外れたときは元の位置に取り付けてください。

- 電力契約は「時間帯別契約」「季節別時間帯別契約」または「従量電灯」としてください。(「深夜電力契約」はできません)
- 電気温水器からの買い換え時は、必ず今までの電力契約を確認してください。

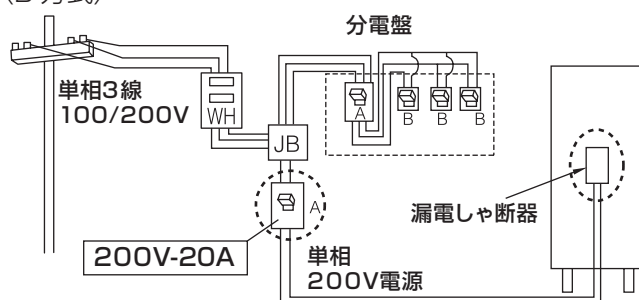
お願い

- 引込み配線方式 (A 方式、B 方式) を確認し、これに合わせた配線工事を行ってください。
- ヒートポンプ給湯機専用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。
- 電源は必ず内線規程に従って、単相三線式 200 V 電源とし、対地電圧が 150 V 以下となるようにしてください。(単相二線式 200 V の場合、対地電圧は 200 V となるため使用しないでください)
- どの電力契約の場合でも電源工事は同じです。

〈A 方式〉

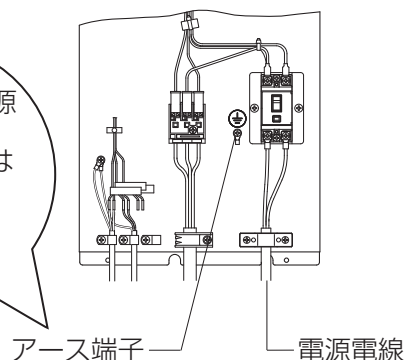


〈B 方式〉

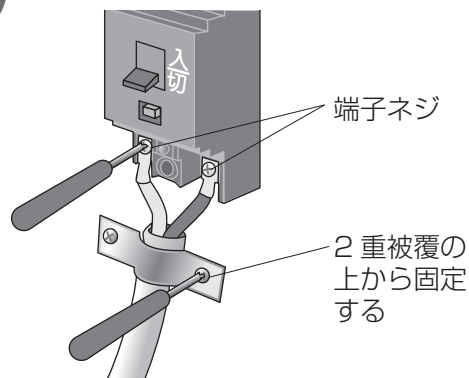


WH: 電力計 A: 親配線用しゃ断器 B: 配線用しゃ断器 JB: 分岐ボックス

アース線付電源
電線 (3 心) の
アース線または
P.27 ④ の
アース線を
接続します

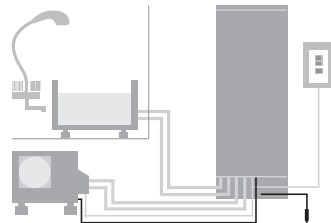


1 端子と電源電線を固定する



- 端子ネジは確実に締めてください。ゆるんでいると過熱して発煙、発火のおそれがあります。

2 リモコンコードがかみ込まないように前板を取り付ける

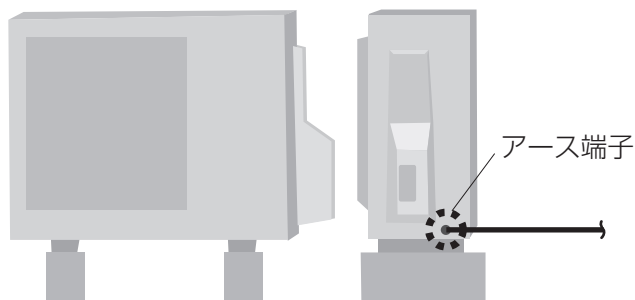


アース工事をする

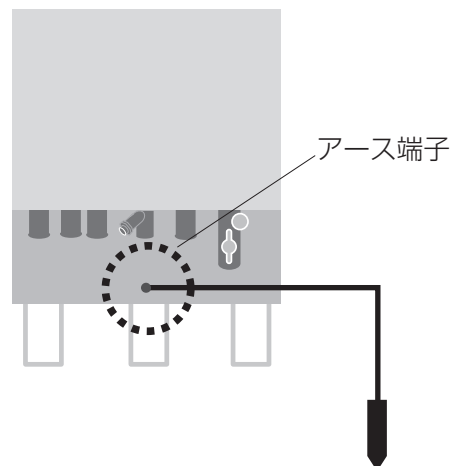
必ず「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士によるD種接地工事を行ってください。

ヒートポンプユニット

(側面)

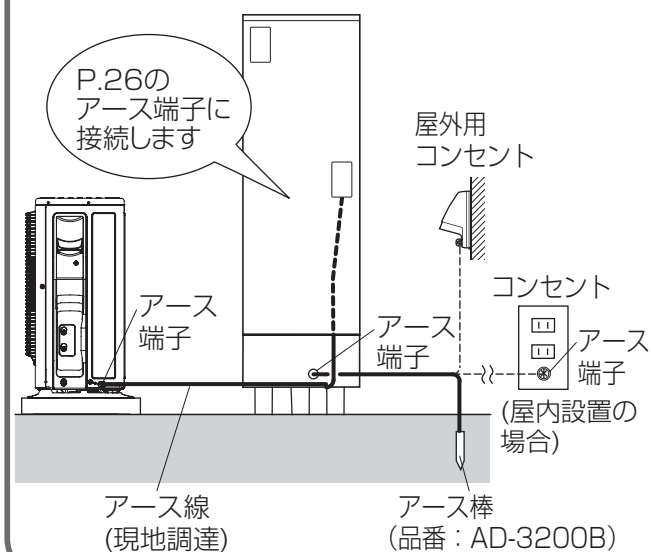


貯湯ユニット



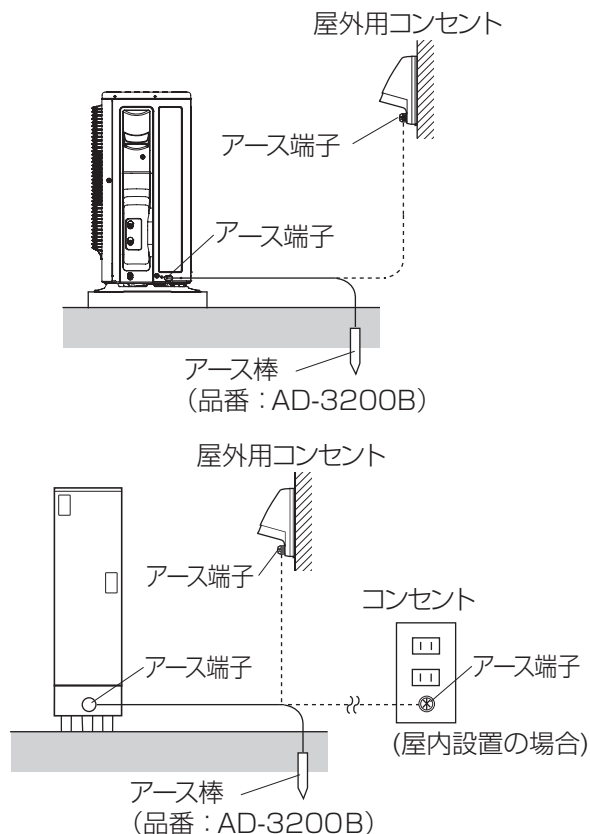
① <ユニット共通のアース工事をする場合>

- アース棒を1本使用する工事例です。



② <ユニット個々にアース工事をする場合>

- アース棒を2本使用します。



- アース工事は、①図または②図の方法で確実に行ってください。
- コンセントのアース端子を使用する場合は、アース工事されていることを確認してください。

⚠ 警告

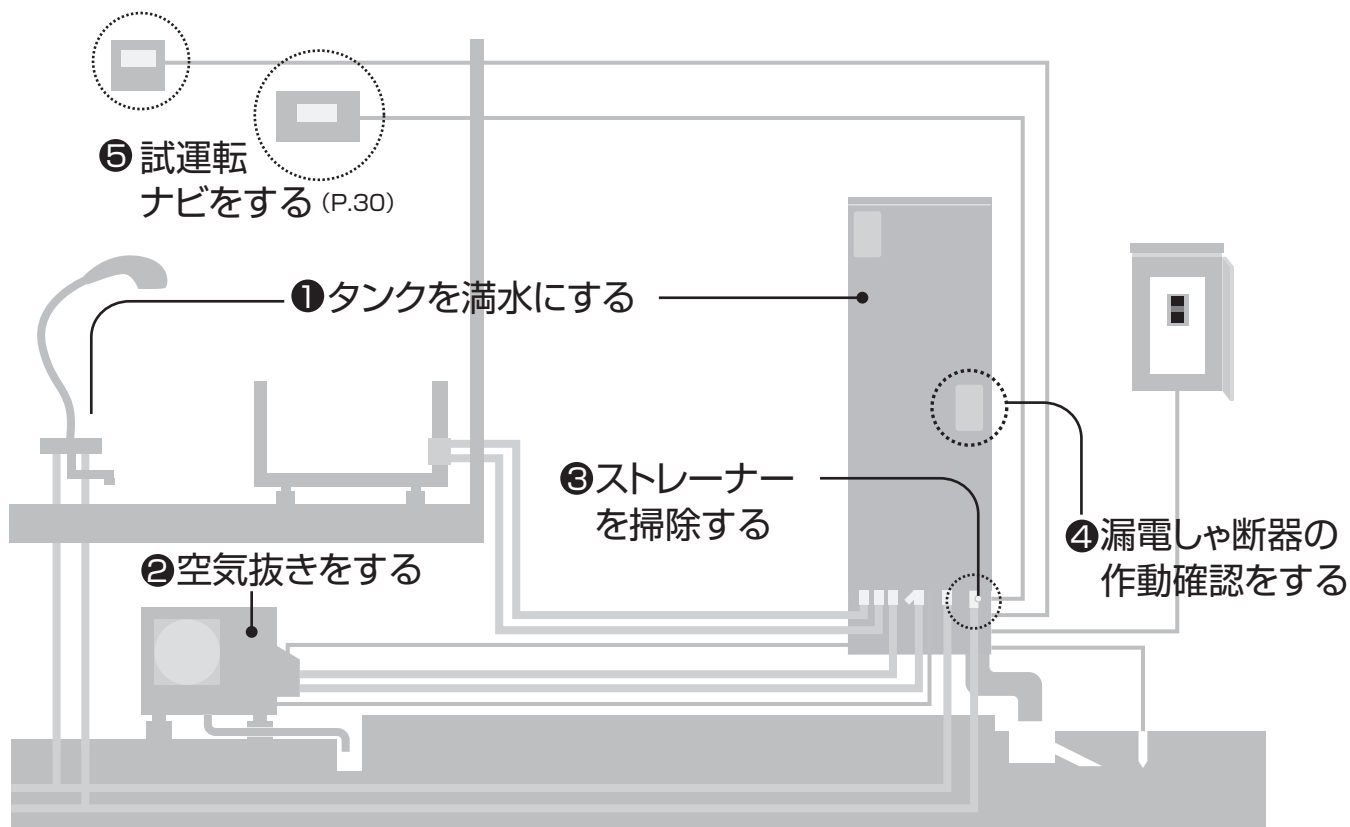


貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットのアース工事 (D 種接地工事) を行う工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が行う

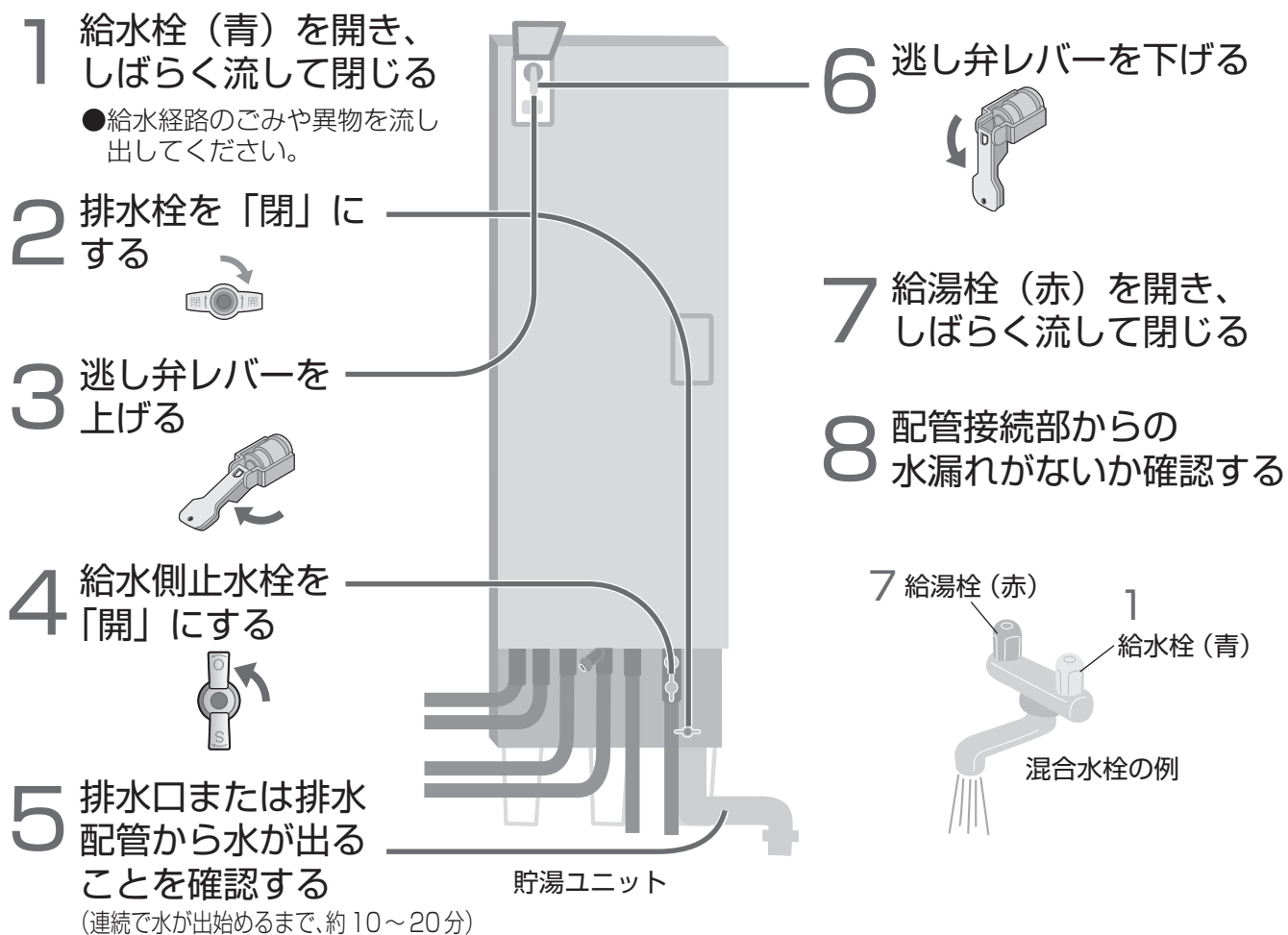
(故障や漏電のときに感電の原因になります)

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路、または漏電しゃ断器を入れた他のアース回路には接続しないでください。
- アース線は、緑色の直径1.6 mm 以上の単線を使用してください。
- アース工事が確실히行われていないと、コミュニケーションリモコンで通話時、異音発生の原因になります。異音が発生する場合は②図の方法で行ってください。

試運転する

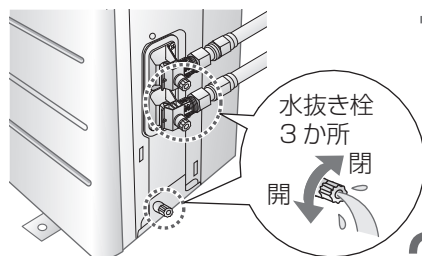


① タンクを満水にする



②ヒートポンプユニットの空気抜きをする

必ず手順に従って空気抜きを行ってください。不十分な場合は、給湯機の故障の原因になります。



ヒートポンプユニット

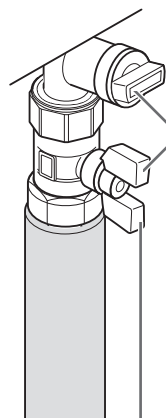
1 水抜き栓（3 か所）を開く

- 勢いよく水が出ることを確認する。
（必ず 1 分以上行ってください）
- 水抜き栓は抜かないでください。

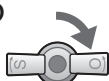
2 水抜き栓（3 か所）を閉じる

●カバーの取り外しは「連絡配線する」(P.24) に従ってください。

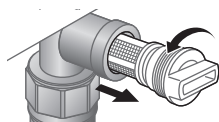
③ストレーナーを掃除する



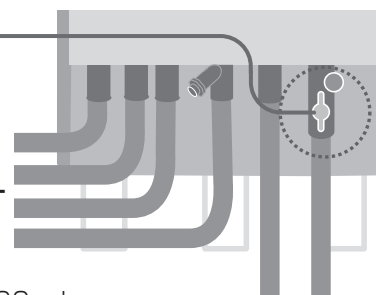
1 給水側止水栓を「閉」にする



2 ストレーナー（フィルター）を外す



- 内部配管の水が
約30秒間（最大 200 ml
程度）出てきます。



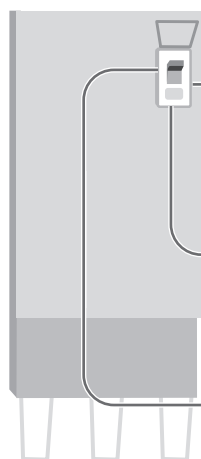
貯湯ユニット

3 ストレーナーを水洗いして戻す

- 工事中的ごみや異物などが詰まっていると、故障の原因になります。
- イラストのつまみの向きは、一例です。

4 給水側止水栓を「開」に戻し 水漏れがないか、確認する

④漏電しゃ断器の作動確認をする

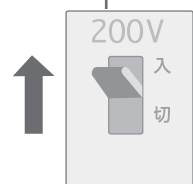


1 配線用しゃ断器（ブレーカー）を「入」にする

2 漏電しゃ断器を「入」にする

3 テストボタンを押し、 漏電しゃ断器が「切」になるか 確認する

4 漏電しゃ断器を「入」に戻す



配線用しゃ断器
（ブレーカー）

●外気温が低いと漏電しゃ断器を「入」にしたとき、凍結予防のためのポンプの作動音がする場合があります。
（異常ではありません）

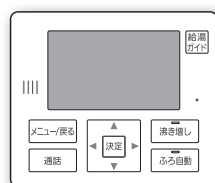
試運転する (つづき)

⑤ 試運転ナビをする

漏電しゃ断器を「入」にすると、リモコンの表示が「試運転ナビ」になります。
漏電しゃ断器を入れた直後は、スイッチ操作を受け付けない場合があります。電源を入れてから 5 秒以上待ってスイッチ操作をしてください。

- 試運転ナビを完了するまで、使用することはできません。
- 試運転ナビ所要時間は 30 ～ 40 分です。

三角スイッチと決定スイッチ  で操作



(台所リモコン)

試運転ナビ
試運転のご案内をします。
[決定]で次へ

決定

試運転ナビ 1
タンクは満水になって
いますか。
[決定]で次へ

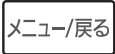
決定

試運転ナビ 2
ストレーナーの掃除
はしましたか。
[決定]で次へ

決定

試運転ナビ 3
漏電しゃ断器の作動
は確認しましたか。
[決定]で次へ

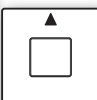
決定

- 試運転中、混合水栓から浴そうへお湯はりしないでください。(正常な水位が記憶されません)
- 「試運転ナビ 5」までは、 を押して 1 つずつ戻ることができます。

三角スイッチ▲▼で日時を設定して、

決定

試運転ナビ 4
日時は
2024年 8月 7日 10:40
▲スイッチで日時修正へ
[決定]スイッチで次へ
[決定]で次へ



日時設定
2024年 8月 7日
[決定]で月へ

日時設定
10:40
[決定]で完了

決定

契約電力会社を
お選び下さい。

2016年3月31日以前の電気料金で契約される場合は、P.39の方法で設定してください。

試運転ナビ 5
東京電力
東北電力
関西電力
[決定]で選択



で「直接設定」を選ぶ

試運転ナビ 5
北陸電力
沖縄電力
直接設定
[決定]で選択

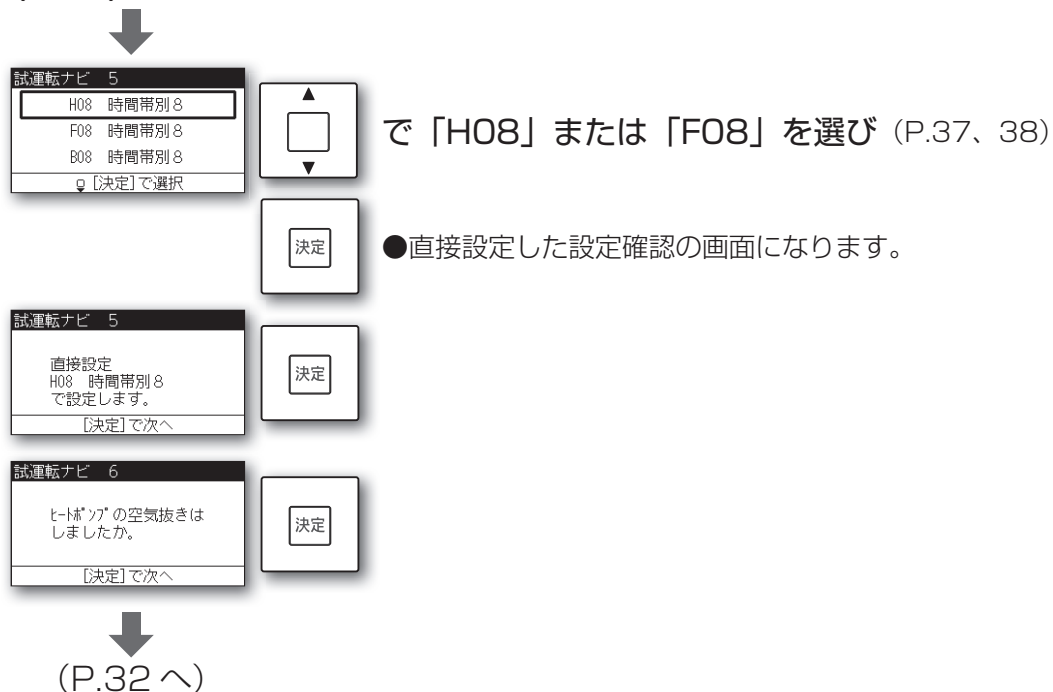
決定

(P.31へ)

試運転中、異常表示が出たら…

1. 漏電しゃ断器を「切」にする
2. 「試運転中、異常表示が出たら…」(P.36)を確認する
3. 処置をする
4. 漏電しゃ断器を「入」にし、再開する

(P.30) からつづく



夜間時間帯は各電力会社の電気料金プランによって異なりますので、沸き上げ時間帯を個別に設定します。

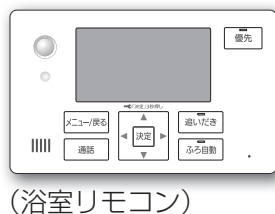
- 各電気料金プランに応じて、「H08」または「F08」を選択します。(P.37、38)
- それぞれの沸き上げ時間帯は下記となります。
「H08」・・・23:00～7:00
「F08」・・・22:00～6:00

2016年3月31日以前の電気料金プランを選択できる場合があります。詳しくは電力会社様へお問い合わせください。

- 2016年3月31日以前の電気料金プランを選択する場合は、P.39の方法で設定してください。

試運転する (つづき)

⑥ふろ試運転をする



(浴室リモコン)

⑤試運転ナビ (P.31) からつづく

ふろ試運転をします。
浴そうの水を抜いて栓を
してください。
浴室リモコンを操作
してください。

浴そうの水を抜いて栓を
してください。
確実に行わないと不具合の
原因になります。
[決定]スイッチで次へ

決定

下記の「お願い」
を参照

沸き上げ湯量設定に関係なく
沸き上げします。
試運転終了後にも「沸上中」
が表示されていることがあり
ます。

ふろ試運転は浴そうに
約180 Lの水をはります。

沸き上げ試運転中。
ふろ試運転中です。
約30分かかります。

.....

ふろ試運転完了です。
最少湯量 100 L
[決定]スイッチで次へ

決定

- 沸き上げ・ふろ試運転
に異常のないことを確
認する。
- 「沸き上げ試運転中、」
の表示が出てから10
～15分後、ヒートポ
ンプユニット配管の
B(湯側)が熱くなる
ことを確認する。

沸き上げ試運転が早
く終わると、表示さ
れません。

試運転ナビ 7
沸き上げ機能を確認中
です。

.....

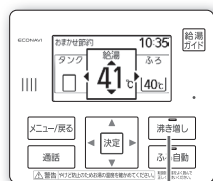
沸き上げ試運転は
正常に完了しました。
[決定]スイッチで次へ

決定

試運転ナビ 8
試運転ナビ完了です。
当日、お湯を使うときは
沸き増しを押してください。
凍結のおそれがあるため、
確実に水抜きをしてください。

- 確実に終了を確認する。
(中止されると、再度電源が入ったとき、再び試運転ナビに
なります)
- 試運転ナビが終了すると通常画面に戻ります。
- お客様のご希望に合わせて、ふろ温度とふろ湯量を
設定してください。

■お客様がその日からお湯を使われるときは



(台所リモコン)

沸き増し

- タンクの水が全量沸き上がるのは、翌朝になります。
お客様がその日からお湯を使われるときは「沸き増しスイッチ」を押して
500L に設定してください。(工場出荷時は 500L に設定されています)



お願い

■ふろ試運転について

- 試運転中にヒートポンプユニット底面とドレンエルボのすき間から水漏れする場合、「排水配管する」
(P.13) に従い、据え付けの確認、修正をしてください。
- ヒートポンプ給湯機を移設したときや、浴そうを交換したときは、再度ふろ試運転をしてください。

■最少湯量表示について

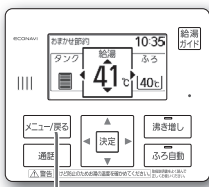
- ふろ試運転後、浴室リモコンの表示部に最少湯量が表示されます。
湯量は浴そうの大きさや、ふろ接続アダプターの取り付け位置によって変わります。
ふろ接続アダプターが標準寸法 (P.20: 高さ 100 ~ 150 mm) にある場合、最少湯量表示は標準的な
浴そうで 100 ~ 140 L となります。
- 試運転時に、浴そうの栓が確実に閉まっていなかったり、閉めるのが遅れた場合、また、ふろ接続アダ
プターの配管接続部がゆるんでいた場合などは、最少湯量は多めに表示されます。
このような場合は、浴そう栓を閉め、ふろ接続アダプターの配管接続部のゆるみを確認してから、再度ふ
ろ試運転を行ってください。

■磁石を近づけないでください。

- 貯湯ユニットの外装に磁石を貼ったり近づけたりしないでください。
誤動作のおそれがあります。

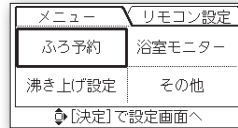
再度、試運転を行うには…

試運転ナビが始まらないときや、登録の変更・追加をするときは、台所リモコンの **メニュー/戻る** から「試運転」を行うことができます。

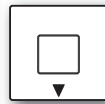
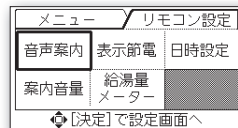


(台所リモコン)

メニュー/戻る

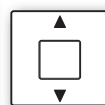
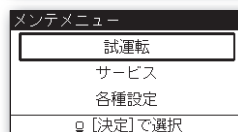


を 2 回押す

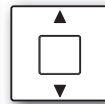
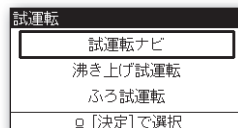


を 10 秒間押す

●カーソルは「案内音量」に移動します。



で「試運転」を選び、



で項目を選び、



次の項目の試運転や登録ができます。

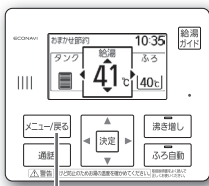
・ 試運転ナビ ・ 沸き上げ試運転 * ・ 風呂試運転 *

・ * の項目は、浴室リモコンでも操作できます。

メンテメニュー の **各種設定** で次の項目の登録や設定ができます。

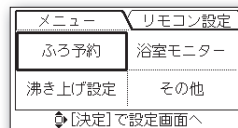
・ 電力制度設定 ・ サービス店 TEL 登録 ・ ヒートポンプ配管設定

■サービス店の電話番号を登録するとき

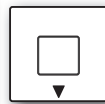


(台所リモコン)

メニュー/戻る

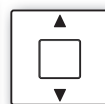
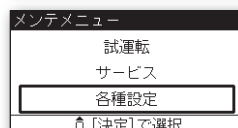


を 2 回押す

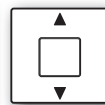
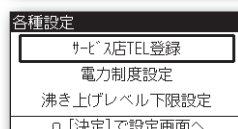


を 10 秒間押す

●カーソルは「案内音量」に移動します。



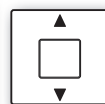
で「各種設定」を選び、



で「サービス店 TEL 登録」を選び、



を 2 回押す



で番号を合わせて、



●登録の内容は、**メニュー** の **その他** を選び、決定。

「サービス店 TEL 表示」で確認できます。

試運転する (つづき)

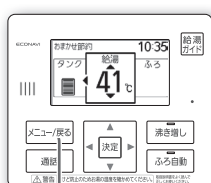
一時的に給湯専用を設定する

機能の一部を一時的に制限して給湯専用として使用できます。

- 給湯専用の設定は、浴室のリフォーム待ちの間など短期間の使用に限定してください。1 年を超えて設定する場合、機器故障等の支障が生じる場合があります。
- 給湯専用を設定する場合、台所リモコンを使用し、浴室リモコンや増設リモコンは接続しないでください。

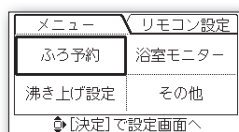
■給湯専用を設定する

- 電源を「入」にして台所リモコンで「⑤試運転ナビをする」を行ってください。(浴室リモコンが接続されていないため、「⑥ふろ試運転をする」は行われません)
- 試運転ナビに続いて次の操作をしてください。

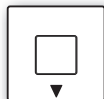


(台所リモコン)

メニュー/戻る

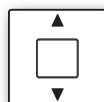
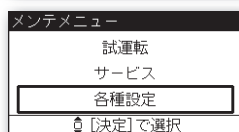


を 2 回押す

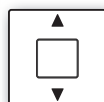
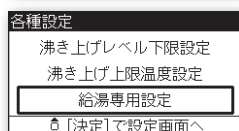


を 10 秒間押す

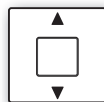
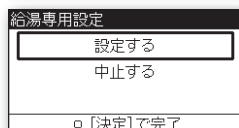
●カーソルは「案内音量」に移動します。



で「各種設定」を選び、



で「給湯専用設定」を選び、

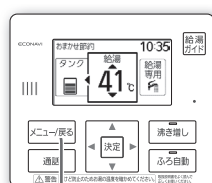


で「設定する」を選び、



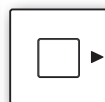
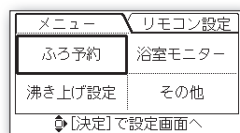
給湯専用設定を中止する

1 給湯専用設定を中止する

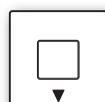
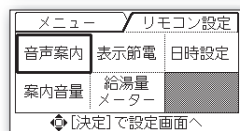


(台所リモコン)

メニュー/戻る

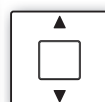
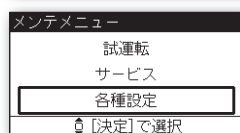


を 2 回押す

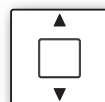
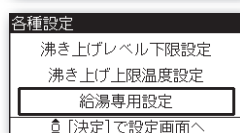


を 10 秒間押す

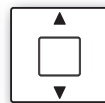
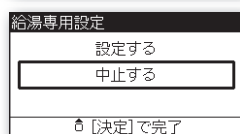
●カーソルは「案内音量」に移動します。



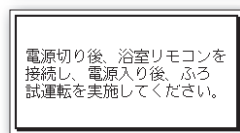
で「各種設定」を選び、



で「給湯専用設定」を選び、



で「中止する」を選び、



2 浴室リモコンを取り付ける

- 電源を「切」にする。
- 浴室リモコンと、必要に応じて増設リモコンを接続してください。

3 ふろ試運転をする

- 電源を「入」にする。
- 「⑤試運転ナビをする」(P.30) と「⑥ふろ試運転をする」を必ず行ってください。

試運転する (つづき)

試運転中、異常表示が出たら…

工事に不具合があると、リモコンに異常を表示して試運転が停止します。
必ず処置をして試運転を完了してください。

異常表示	内 容	処 置	参照
—	本体とリモコンの機種が違います。	貯湯ユニットに合ったリモコンに交換してください。 台所・浴室リモコンセットを交換してください。	P.6
H76	エラーコード H76	リモコンコードの接続に不具合があると表示します。	P.25
H90	H90 ユニット間通信 連絡配線の色、差込 を確認してください。 解除は電源 切/入	貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の連絡線（3心・VVF ケーブル）接続に不具合があると表示します。	P.24
H92	H92 誤配管検出 ヒートポンプ配管の接続が正しいことを確認して電源を再投入してください。 解除は電源 切/入	貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の A（水側）配管と B（湯側）配管の接続が逆になっていると表示します。	P.16,17
H94	H94 ユニット間循環 ヒートポンプエアの空気 抜きはされましたか。 解除は電源 切/入	ユニット間の循環系に不具合があると表示します。 ・ヒートポンプユニットの空気抜きが不十分	P.29
H95	H95 電源電圧 電源は200Vを 供給してください。 解除は電源 切/入	AC 100V 電源に接続されている場合に 表示します。	P.26
U22	U22 断水検出 断水が復帰してから ご使用ください。 解除は決定スイッチ	断水していると表示します。 次の場合も表示します。 ・給水側止水栓が「閉」 ・ストレーナー（フィルター）の目詰まり	P.29
U51	U51 浴そう栓忘れ ふろの配管接続も 確認してください。 解除は決定スイッチ	浴そう栓やふろ循環系に不具合があると表示します。 ・浴そうの栓忘れや栓の浮き ・ふろ配管の詰まり、折れ、つぶれ ・長配管接続 ・ふろ循環ポンプ水抜き栓のゆるみ	P.18 ～ 21
U53	U53 浴そう満水 ふろアダプター、配管を 確認してください。 解除は決定スイッチ	ふろ配管接続部の締め付け不足やパッキンの忘れ、パッキンの損傷、ふろ循環ポンプ水抜き栓のゆるみなどにより水漏れがある場合、表示します。 ※ふろ接続アダプターが専用別売部材でない場合も表示することがあります。	P.18 ～ 21 ※ P.7
—		リモコンが表示しない、または表示し たりしなかったりするときは ・リモコンコードの短絡、断線 ・リモコンコードの接続部接触不良 ・電源系（AC 200V）の不具合	P.25,26

●その他の異常表示が出たときは、前板裏面に貼付のサービス説明書（エラーコード表）を参照してください。

沸き上げ時間帯設定

- 夜間時間帯は各電力会社の電気料金契約によって異なりますので、沸き上げ時間帯を個別に設定します。
- 沸き上げ時間帯の設定方法は、P.30 をご覧ください。
「試運転ナビ」で、「H08」または「B08」を選択して設定してください。

■設定できる沸き上げ時間帯

設定	沸き上げ時間帯	20:00	22:00	0:00	2:00	4:00	6:00	8:00	10:00
H08	23:00 ~ 7:00								
B08	0:00 ~ 8:00								

■おもな電力会社の夜間時間帯（例）

夜間時間帯	20:00	22:00	0:00	2:00	4:00	6:00	8:00	10:00	沸き上げ時間帯の設定
20:00 ~ 8:00									・「H08」を選択してください
21:00 ~ 9:00									
21:00 ~ 7:00									
22:00 ~ 8:00									
23:00 ~ 9:00									
1:00 ~ 6:00									・「B08」を選択してください※ ¹

- ・おもな電力会社の契約プラン設定については、P.38 をご覧ください。
 - ・朝方の電気使用量のピーク時間帯をさけたい場合は、「F08」（沸き上げ時間帯 22:00 ~ 6:00）を選択してください。沸き上げ完了時刻を早めます。
- ※¹ エコキュートは最大 8 時間で沸き上げを行うため、「B08」を選択時、お湯の使用状況によっては、沸き上げを 0 時から開始したり、8 時まで行う場合があります。

試運転する (つづき)

おもな電力会社の契約プランと沸き上げ時間帯設定

- おもな電力会社の電気料金契約を示したものです。
契約される電力会社の最新情報を、ホームページなどでご確認ください。

「H08」を選択した場合の沸き上げ時間帯は 23:00 ～ 7:00 です。
「B08」を選択した場合の沸き上げ時間帯は 0:00 ～ 8:00 です。



電力会社名	契約プラン	夜間時間帯	沸き上げ時間帯の設定
北海道電力	エネとくスマートプラン	22:00 ～ 8:00	・「H08」を選択してください
	eタイム3プラス	22:00 ～ 8:00	
東北電力	よりそう+シーズン&タイム	22:00 ～ 8:00	
	よりそう+ナイト12	21:00 ～ 9:00	
	よりそう+ナイト&ホリデー	22:00 ～ 8:00	
	よりそう+ナイト8	23:00 ～ 7:00	
	よりそう+ナイト10	22:00 ～ 8:00	
	よりそう+ナイトS	22:00 ～ 8:00	
	よりそう+サマーセーブ	23:00 ～ 7:00	
	よりそう+スマートタイム	22:00 ～ 8:00	
東京電力 エナジーパートナー	スマートライフL	1:00 ～ 6:00	・「B08」を選択してください※1
	夜トクプラン (夜トク8)	23:00 ～ 7:00	
	夜トクプラン (夜トク12)	21:00 ～ 9:00	
中部電力 ミライズ	スマートライフプラン	22:00 ～ 8:00	・「H08」を選択してください
	スマートライフプラン (朝とく)	23:00 ～ 9:00	
	スマートライフプラン (夜とく)	21:00 ～ 7:00	
北陸電力	くつろぎナイト12	20:00 ～ 8:00	
関西電力	はぴeタイムR	23:00 ～ 7:00	
中国電力	電化 Style コース	21:00 ～ 9:00	
	ナイトホリデーコース	21:00 ～ 9:00	
四国電力	でんかeプラン	23:00 ～ 9:00	
	でんかeマンションプラン	23:00 ～ 9:00	
九州電力	電化でナイト・セレクト21	21:00 ～ 7:00	
	電化でナイト・セレクト22	22:00 ～ 8:00	
	電化でナイト・セレクト23	23:00 ～ 9:00	
沖縄電力	Ee ホームホリデー	23:00 ～ 7:00	
	Ee ホームフラット	23:00 ～ 7:00	
	時間帯別電灯	23:00 ～ 7:00	

(2024年8月現在)

・朝方の電気使用量のピーク時間帯をさけたい場合は、「F08」(沸き上げ時間帯 22:00 ～ 6:00)を選択してください。沸き上げ完了時刻を早めます。

※1 エコキュートは最大8時間で沸き上げを行うため、「B08」を選択時、お湯の使用状況によっては、沸き上げを0時から開始したり、8時まで行う場合があります。

各電力会社別電力契約と対応電力制度表示（2016年3月31日以前の場合）

ご契約の電気料金プランに合わせて、対応する電力制度を選んで設定してください。（P.30）

●：対象

電力会社名	契約プラン	夜間時間帯	対応電力制度（直接設定）								
			H08	H09	H17	H16	H18	H10	H19	o17	o08
東北電力	やりくりナイト8	23：00～7：00	●	－	－	－	－	－	－	－	－
	やりくりナイト10	22：00～8：00	－	－	－	－	－	●	－	－	－
	やりくりナイトS	22：00～8：00	－	－	－	－	－	●	－	－	－
東京電力	電化上手	23：00～7：00	－	－	●	－	－	－	－	－	－
	おトクなナイト8	23：00～7：00	●	－	－	－	－	－	－	－	－
	おトクなナイト10	22：00～8：00	－	－	－	－	－	●	－	－	－
中部電力	Eライフプラン	23：00～7：00	－	－	－	●	－	－	－	－	－
	タイムプラン	23：00～7：00	●	－	－	－	－	－	－	－	－
北陸電力	エルフナイト10	22：00～8：00	－	－	－	－	－	●	－	－	－
	エルフナイト10プラス	22：00～8：00	－	－	－	－	－	－	●	－	－
	エルフナイト8	23：00～7：00	●	－	－	－	－	－	－	－	－
関西電力	はぴeタイム	23：00～7：00	－	－	●	－	－	－	－	－	－
	時間帯別電灯	23：00～7：00	●	－	－	－	－	－	－	－	－
中国電力	ファミリータイム	23：00～8：00	－	－	－	－	●	－	－	－	－
	エコノミーナイト	23：00～8：00	－	●	－	－	－	－	－	－	－
四国電力	スマートeプランタイプL	23：00～7：00	－	－	－	●	－	－	－	－	－
	スマートeプランタイプH	23：00～7：00	－	－	－	●	－	－	－	－	－
	得トクナイト	23：00～7：00	●	－	－	－	－	－	－	－	－
	電化Deナイト	23：00～7：00	●	－	－	－	－	－	－	－	－
九州電力	電化deナイト	22：00～8：00	－	－	－	－	－	－	●	－	－
	時間帯別電灯（8時間型）	23：00～7：00	●	－	－	－	－	－	－	－	－
	よかナイト10	22：00～8：00	－	－	－	－	－	●	－	－	－
沖縄電力	Eeらいふ	23：00～7：00	－	－	－	－	－	－	－	●	－
	時間帯別電灯	23：00～7：00	－	－	－	－	－	－	－	－	●

2016年4月1日以降でも、上記の契約プランを選択できる場合があります。
 夜間時間帯の設定が、お客様の電力契約の内容と一致していることを確認してください。
 詳しくは、電力会社様へお問い合わせください。
 従量電灯契約を選ぶ場合は、各電力会社名の名称欄の先頭の名称に設定してください。

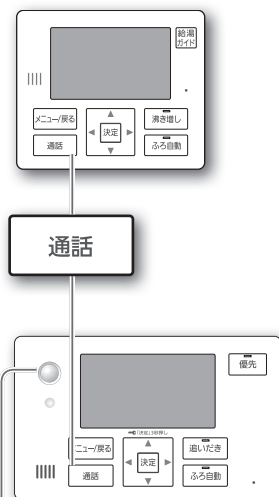
試運転する (つづき)

リモコンの確認

■ 表面の保護シートが、はがされていることを確認してください。

通話確認

- リモコンは「通話」が使用できるかご確認ください。
通話確認をする場合は、浴室の扉、窓を閉めて行ってください。
(浴室の扉、窓を開けたまま通話確認を行うと、ハウリングする場合があります)
- 浴室の扉を閉めてもハウリングする場合は、台所リモコンを浴室リモコンから離して設置してください。台所リモコンを離れた場所に設置できない場合、ハウリングしないように通話音量を下げて使用するなどの対処法を、お客様にお伝えください。
- 玄関ドアホンや浴室テレビなどの近くに設置していたり、近くに配線がある場合、ノイズが発生することがあります。



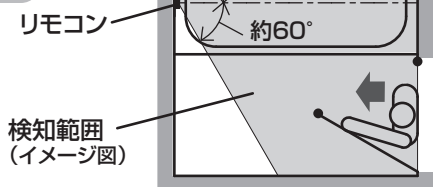
ひとセンサー

ひとセンサーの検知確認

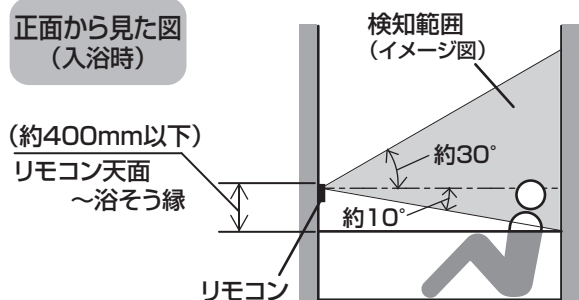
浴室に人が入ったときや、入浴中に浴室リモコンの画面表示部のバックライトが点灯することを確認してください。

推奨例

上から見た図
(入室時)



正面から見た図
(入浴時)

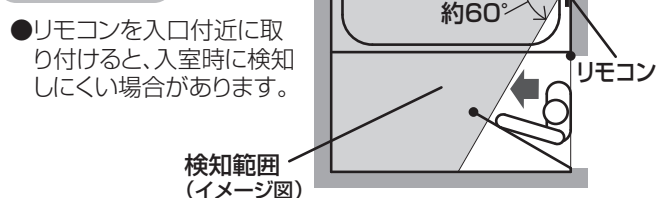


お願い

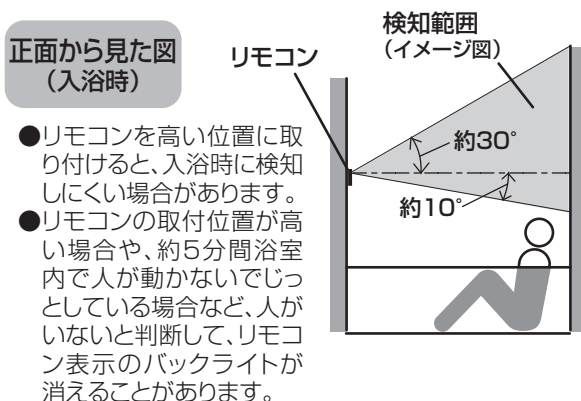
- リモコンの取付方法は、リモコンの工事説明書に従ってください。
- 直射日光の当たるところに取り付けると、窓の外の木々の揺れなどで日光がさえぎられて、人を正しく検知しないことがあります。必要時、窓に遮光対策をして直射日光が当たらないようにしてください。

検知しにくい例

上から見た図
(入室時)



正面から見た図
(入浴時)

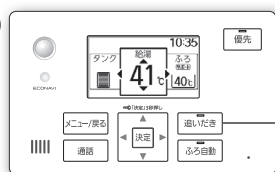


水抜きする

- 以下の場合、必ず水抜きをしてください。
(外気温が 0℃ 以上のあるときに行ってください。0℃ 以下では排水中に凍結のおそれがあります)
- 設置後電源を切っておくとき (凍結による破損や水漏れのおそれ) **凍結による修理は保証の対象外です。**
- 入居するまでに長期間 (1 か月以上) 使わないとき
(タンク内を清潔に保ち、給湯機が故障する原因を取り除く)

ふろ配管

1 浴そうを空にして ふろ配管に残った水を 抜く (浴室リモコン)



追いだし

...

追いだし

を押して停止

ふろ接続アダプター
から水が出なく
なったら...

2 配線用しゃ断器 (ブレーカー) と漏電 しゃ断器 (貯湯ユニット) を「切」にする

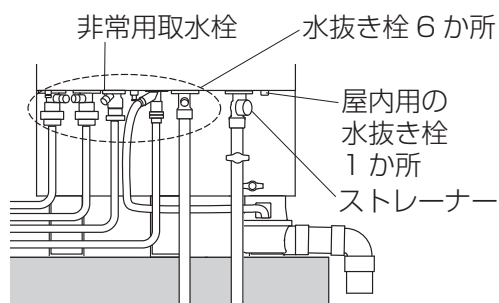
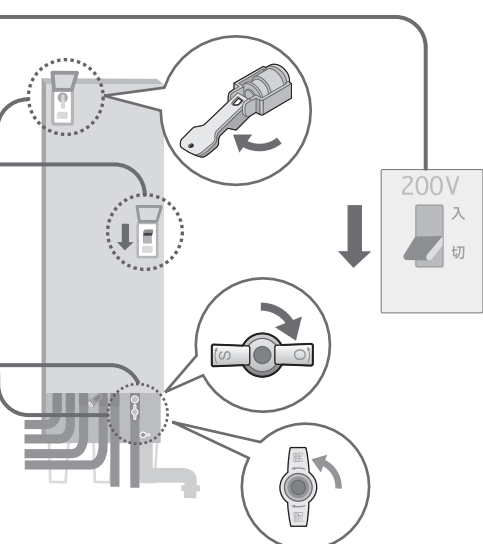
3 貯湯ユニット内の水をすべて排水する

- ① 混合水栓のお湯側と水側を開き、
熱いお湯が出なくなるまで出す
- ② 水側を閉じる
- ③ 給水側止水栓を閉じる
- ④ 逃し弁レバーを上げる
- ⑤ 排水栓を開く
- ⑥ 排水配管から、水が流れ出なく
なったことを確認する (約 40 分かかります)
- ⑦ 混合水栓のお湯側を閉じる



4 配管などに残った水を抜く

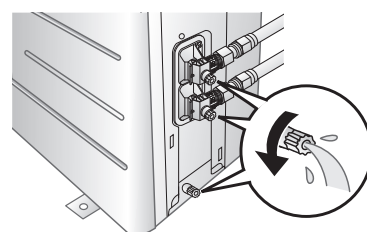
- すべての栓から水が出るため、周囲に防水処置を
してください。
- ⑧ 貯湯ユニットの水抜き栓、非常用取水栓を
左に回してゆるめる
ストレーナーは外す
屋内用の水抜き栓 1 か所は外す
続けて、ヒートポンプユニットの水抜き栓
(3 か所) をゆるめる
・配管途中に水抜きバルブを取り付けているとき
は、開いてください。(P.23)
- ⑨ 排水栓、貯湯ユニットの水抜き栓、非常用取水栓、
ヒートポンプユニット側の水抜き栓をすべて開いた
まま、水が出なくなるまで放置する (約 1 時間)
・水が出ないからといって栓を閉じると、他の栓の
水が出なくなり、冬場の凍結による破損の原因に
なります。



非常用取水栓 水抜き栓 6 か所
屋内用の
水抜き栓
1 か所
ストレーナー

5 排水配管から水が出なくなったら

- ⑩ 貯湯ユニットの水抜き栓、非常用取水栓を閉じ、
ストレーナーと屋内用の水抜き栓 1 か所を取り付ける
- ⑪ ヒートポンプユニットの水抜き栓 (3 か所) を閉じる
・配管途中の水抜きバルブを開いたときは、閉じてく
ださい。(P.23)
- ⑫ 排水栓を最後に閉じる (故障の防止)
- ⑬ 逃し弁レバーを下げる



- カバーの取り外しは「連絡配線
する」(P.24)に従ってください。
- 水抜き栓は外さないでください。

チェックシート

【工事チェック】

据付

チェック

- ☐ ①ヒートポンプユニットを設置する際に、「据え付け場所を決める」(P.8) および同梱の「騒音トラブルの未然防止注意喚起チラシ」を確認していますか。
- ☐ ②貯湯ユニットの質量に十分耐え、騒音や振動が増大しない場所に設置していますか。
- ☐ ③床に防水処理、および漏水時の排水処理をしていますか。
- ☐ ④貯湯ユニット脚部は、M12 のオネジアンカーボルトで固定していますか。
- ☐ ⑤2 階以上に設置する場合、貯湯ユニット上部を強度のある壁に固定していますか。
(上部固定金具を使用する場合)
- ☐ ⑥工事説明書に従ってメンテナンス（修理）スペースを確保していますか。
- ☐ ⑦近くにガス類容器や引火物を置いていませんか。
- ☐ ⑧システム品番に合ったリモコンを据え付けていますか。

〈据付工事店様記入〉

据付工事店名	電話番号	担当者名

配管

チェック

- ☐ ①水道水を使用していますか。(井戸水は使用不可)
- ☐ ②配管内部への異物混入を防ぐ処置をしていますか。
- ☐ ③試運転時またはお引き渡しまでにストレーナー（フィルター）を掃除していますか。
- ☐ ④タンク排水時、排水エルボや排水溝より水があふれませんか。
- ☐ ⑤排水経路には、5 cm 以上の吐水口空間がありますか。
- ☐ ⑥ヒートポンプユニットの排水処理をしていますか。
- ☐ ⑦給水配管に給水側止水栓が取り付けられていますか。
- ☐ ⑧「配管材料による制約条件」(P.12) に従って配管工事をしていますか。
- ☐ ⑨ヒートポンプユニット配管の接続に、付属の専用ガスケットまたはメタルブッシングを使っていますか。
- ☐ ⑩ヒートポンプユニット配管は、A—A、B—B 正しく接続していますか。(逆接続すると H92 エラー表示)
- ☐ ⑪ヒートポンプユニット配管はツインチューブではなく独立した配管にしていますか。
- ☐ ⑫ふろ接続アダプターは専用別売部材を使用していますか。
- ☐ ⑬保温工事は、適切に行っていますか。
給水・給湯配管、ヒートポンプユニット配管、ふろ配管に断熱材を巻いていますか。
- ☐ ⑭凍結のおそれがある場合、「保温・凍結予防工事する」(P.22) に従い、凍結予防ヒーターを確実に取り付けられていますか。

〈据付工事店様記入〉

据付工事店名	電話番号	担当者名

配線

チェック

- ☐ ①電源は 200 V 配線をしていますか。(誤って 100 V 配線をすると H95 エラー表示)
- ☐ ②電源電線の端子ネジは確実に締まっていますか。(ゆるんでいると過熱して発煙、発火のおそれ)
- ☐ ③貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットのアース工事は適切に行っていますか。
- ☐ ④専用の配線用しゃ断器（ブレーカー）が取り付けられていますか。
- ☐ ⑤ユニット間の連絡線は確実に接続されているか確認しましたか。
(接続不良の場合、過熱して発煙、発火のおそれ、H90 エラー表示)

〈据付工事店様記入〉

据付工事店名	電話番号	担当者名

点検

チェック

- ☐ ①タンクを満水にし、水漏れがないかを確認しましたか。
- ☐ ②ヒートポンプユニットの空気抜きをしましたか。(空気抜き不十分のとき、H94 エラー表示)
- ☐ ③ストレーナー（フィルター）の掃除をしましたか。
(配管工事のごみなどがストレーナーに詰まり、流量低下する場合があります)
- ☐ ④漏電しゃ断器は、正常に作動しますか。
- ☐ ⑤試運転ナビを行い、異常がありませんでしたか。
- ☐ ⑥お客様の電力会社との契約の設定になっていますか。(試運転ナビで設定)
- ☐ ⑦ヒートポンプユニットや架台から異常な音がしたり、離れた場所で耳障りな反射音が生じていませんか。
- ☐ ⑧ヒートポンプユニットの排水は、「排水処理をする」(P.13) に従い排水溝へ正しく導かれていますか。
- ☐ ⑨ふろ試運転後に表示される最少湯量の値は、正常な範囲でしたか。
- ☐ ⑩リモコンの時刻は合っていますか。(正しく合わないと、沸き上げ開始時刻が変わってきます)
- ☐ ⑪リモコンは、リモコンの工事説明書に従い確実に固定されていますか。
- ☐ ⑫ふろ循環中に水漏れ、エアーがみしていないか確認しましたか。
(最少湯量が大きくなったり、設定した湯量にならずに浴そうのお湯があふれる場合があります)
- ☐ ⑬お湯や水を止めたとき、衝撃音（ゴン・コンという音）や振動を生じる現象はありませんか。
お湯や水を急に止めたときに起こりやすい現象で「ウォーターハンマー（水撃音）現象」といいます。
水圧が高いときや流速が早いとき等に発生しやすくなります。このような場合は水撃防止装置を取り付けるか、ウォーターハンマー低減機構付きシングルレバー型および一時止水機構付きの混合水栓のご使用をおすすめします。取り付け・交換はお客様のご意向に沿って行ってください。
- ☐ ⑭シャワーからの流量を確認しましたか。
(シャワー流量が少ないとき、給水圧力と給水口のストレーナー、カランの給湯側止水栓を確認)
- ☐ ⑮サービス店 TEL 登録 (P.33) をしましたか。
(登録しないと、台所リモコンでサービス店の電話番号を確認できません)
- ☐ ⑯水抜きが必要な場合は、「水抜きする」(P.41) に従い、水抜きを行いましたか。

〈据付工事店様記入〉

据付工事 店名	電話番号	担当者名

【工事チェック】が終わったら

お引き渡しする

■ お引き渡しの際は…

- 取扱説明書をお読みいただき、お客様に次の説明をしてください。
 - ・漏電しゃ断器、配線用しゃ断器、給水側止水栓（給水元栓）の場所
 - ・水抜きバルブの場所（配管途中に水抜きバルブが取り付けられている場合）
 - ・非常用取水栓の使用方法
 - ・安全上の注意
 - ・定期点検について
 - ・浴そうなどが青くなることがある
 - ・リモコンの操作方法と各種設定
- お客様のご希望に合わせて、「ふろ温度・ふろ湯量」を設定してください。
- お客様がその日からお湯を使われるときは「沸き増しスイッチ」を押してください。(何もしなければタンクの水が全量沸き上がるのは、翌朝になります)
- 保証書に所定事項（販売店・工事店名印、据付年月日など）を記入し、取扱説明書、ご使用ガイド、工事説明書と一緒にお客様にお渡しください。
保証書への記入がないと、無料修理をお引き受けできないことがあります。

水栓や配管の修理・交換時には…

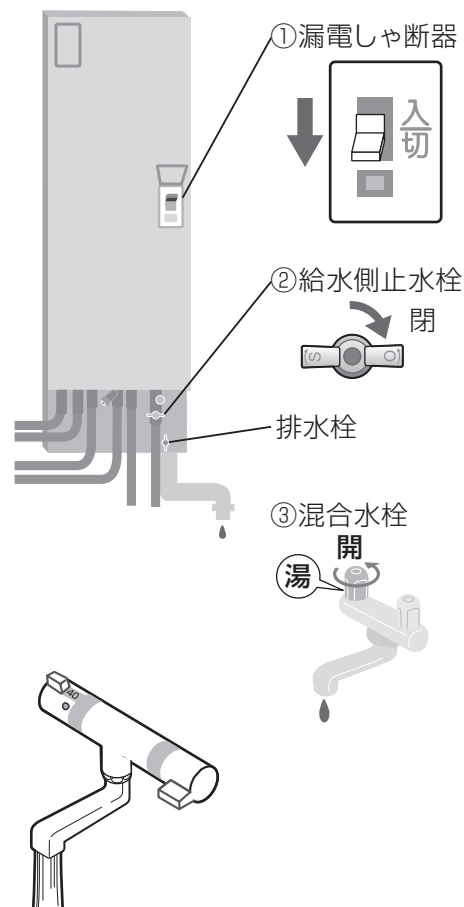
- ①漏電しゃ断器を「切」にする。
- ②給水側止水栓を閉じる。
- ③混合水栓からお湯が出ないことを確認してから修理や交換をする。

■お湯が止まらないときは…

給湯機の特性上、給水側止水栓を閉じて最大で約 50L のお湯が出る場合があります（最長 1 時間）。この場合、次の要領で短時間にお湯を止めることができます。

- 1) 逃し弁レバーを上げ、排水栓を開けて、5 分以上排水してください。
- 2) 排水栓を閉じた後、逃し弁レバーを下げ、該当の箇所のお湯が止まるまでお待ちください。

- 混合水栓は逆流防止弁付を使用してください。
（湯水混合水栓の給水側から給湯側に逆流すると貯湯ユニットの逃し弁から常時水が漏れます）
- 浴室の水栓は、サーモスタットタイプ
（自動温度調節機能付）の混合水栓を、お使いください。



フルオート*			セミオート
HE-RQWLW	HE-NQWLW	HE-TQWLW	HE-RSWLW
HE-YQWLW	HE-WQWLW	HE-YWQWLW	

本書は上記リモコンセットの他に、家庭用ヒートポンプ給湯機本体に同梱の台所リモコン(給湯専用)、および付属品セットに同梱のコミュニケーションリモコン(フルオート*)にも適用します。

リモコン品番と給湯機との適合を給湯機の工事説明書などで確認してください。
※裏面「ひとセンサー付浴室リモコン取付位置について」をよく読んで、取付工事を行ってください。

工事をされる方へのお願い

この工事説明書は工事業者が正しく安全な工事をするために必要な手引書です。
工事開始前に必ずお読みください。本書の記載事項に従って工事をされなかったことが原因で生じた故障・事故などは、保証の対象になりませんのでご注意ください。設置工事後、この工事説明書は取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、説明しています。
- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

**警告**「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**実行しなければならぬ内容(強制事項)です。**

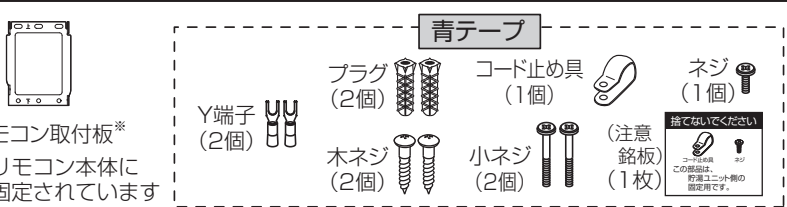
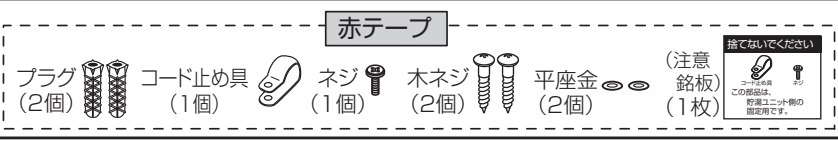
**してはいけない内容(禁止事項)です。**

 警告

-  工事は、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてから行う(感電の原因となります)
-  医療機器や自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに据え付けない(台所リモコンからの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります)

同梱部品

◆工事には必ず同梱部品を使用してください。

台所リモコン	 リモコン取付板* ※リモコン本体に固定されています 青テープ プラグ (2個) コード止め具 (1個) ネジ (1個) Y端子 (2個) 木ネジ (2個) 小ネジ (2個) (注意 銘板 (1枚)) ※この製品は、貯湯ユニット側の取付用です。
浴室リモコン	 赤テープ プラグ (2個) コード止め具 (1個) ネジ (1個) 木ネジ (2個) 平座金 (2個) (注意 銘板 (1枚)) ※この製品は、貯湯ユニット側の取付用です。

台所リモコン取付工事

取付場所を選定する ● お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。

◆次の場所は避けてください。故障や不具合の原因になります。

ドアホンの親機や電子レンジなど、電波を発する機器の近くは避ける

・上下左右20 cm以上離してください。
取付壁内部に金属がある場合は特に注意が必要です。
(誤動作や通話時にノイズが入る原因になります)

燃焼器具の上は避ける

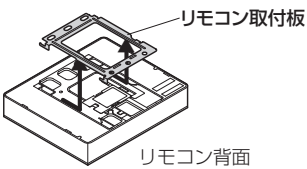
直射日光・水しぶき・蒸気・水滴のかかるところは避ける

浴室リモコンと同一の壁に取り付けない

金属製の壁に取り付けない(台所リモコンの無線通信不具合の原因になります)

リモコンを取り付ける

1 露出／埋込配線 共通

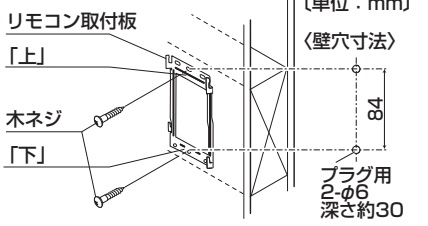


リモコン取付板

リモコン背面

2 リモコンコード露出配線

●プラグを使用する場合は、プラグ用の穴をあけて打ち込んでください。(「施工上のお願い」参照)



リモコン取付板

「上」

「下」

木ネジ

【単位：mm】

〈壁穴寸法〉

84

プラグ用 2-φ6 深さ約30

3 リモコンコード露出配線

●リモコン取付板の「上」「下」刻印を確認してください。

●リモコン取付板を同梱の木ネジで壁に固定します。

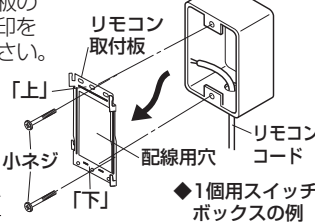
●リモコン取付板が壁の仕上げ面と同一面となるように固定してください。

●壁の化粧クロスが厚い場合、リモコンが乗り上げて、取り付けできなくなることがあります。(リモコン取付板が仕上げ面より深く沈み込むほど強くネジを締め付けないでください)

リモコンコード埋込配線

●リモコン取付板の「上」「下」刻印を確認してください。

●リモコン取付板をスイッチボックスに取り付け、同梱の小ネジで固定します。



スイッチボックス

リモコン取付板

「上」

「下」

小ネジ

配線用穴

リモコンコード

◆1個用スイッチボックスの例

専用別売部材

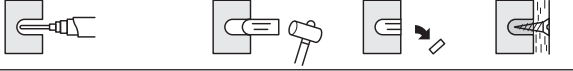
部 材 名	品 番
シールド付リモコンコード	2 心・10 m AD-HERSA-210
リモコンコード	2 心・10 m AD-HERCA-210
一般浴室用リモコン取付部材(在来工法の浴室の場合に使用)	CF-RK2

・別売部材の詳細はパナソニックエコキュートカタログの「専用別売部材一覧」をご覧ください。
(記載されていない部材もあります)
・各部材使用時は同梱の説明書を参照してください。

施工上のお願い

- 次の基準、規程に従って設置してください。
- 電気設備に関する技術基準
 - 内線規程
- パイプシャフト内に機器の電気配線、リモコン用配線を行う場合には電気設備に関する技術基準に準じた防爆工事を行ってください。
- メタルラス張りなどの壁を貫通する場合は、メタルラスと金属電線管が電氣的に接続しないようにしてください。
- リモコンのネジ止めには電気ドライバー、インパクトドライバーなどは使用しないでください。破損や変形の原因になります。
- リモコン取付工事に必要のないネジは、絶対に締め付けたりゆるめたりしないでください。
- 《準備》
- パナソニックエコキュートカタログの「専用別売部材一覧」の「リモコンコード」を使用してください。給湯専用はシールドなしのリモコンコードも使用可能です。
 - シールド付リモコンコードを使用するときは、シールド線を貯湯ユニット側のリモコンアース用端子ネジに固定してください。
 - 工事前および工事中に水や泥がかからないよう注意してください。故障や汚れの原因になります。(各リモコンの背面は防水仕様ではありません)
 - 台所リモコンを浴室に取り付けないでください。
- 《配線工事》
- 必ず電源「切」の状態を確認してから配線工事を行ってください。
 - 全長がそれぞれ 25 m 以内になるように配線工事を行ってください。
 - 《露出配線の場合》リモコンの接続部に外力が加えられないように壁面に固定してください。
 - 直接熱の影響を受けないところに配線してください。
 - コンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収め、コードが傷つかないようにしてください。
 - 必ず接続するリード線の色を確認して、正しく接続してください。
 - リモコンから貯湯ユニットまでの配線は、リモコンコードと電源電線を 5 cm 以上離してください。電線管などに通す場合は同じ電線管内に通さないでください。
- 《設置工事》
- 壁に穴をあけるときは、大きくあけすぎると固定できなくなるので注意してください。
 - 貫通穴をあけるときは、壁内部にある柱・鉄筋の位置を確認して取付場所を決めてください。
 - 設置工事で発生した鉄粉がリモコンに内蔵されたスピーカーに付着すると、リモコンから音が出なくなるおそれがあります。リモコン内部に鉄粉や異物が入らないようにしてください。

■タイル、コンクリート、モルタルなどの壁のときは、プラグを壁に打ち込み、木ネジで取り付けてください。



下穴を(穴径φ6 mm)あける(深さ約30 mm)

プラグを打ち込む

余分を切断する

木ネジで取り付ける

- 《工事後》
- 「工事完了後の確認」(裏面)のチェック□(1)～□(8)を必ず実施してください。
 - 爪などのとがったもの、硬いボールペンのような跡の残るものでスイッチの操作をしないでください。(故障の原因)

4 露出／埋込配線 共通

① マイナスドライバーを右図のように差し込んで、端子台フタを外し、

② セットされているナベ小ネジ*をゆるめてください。

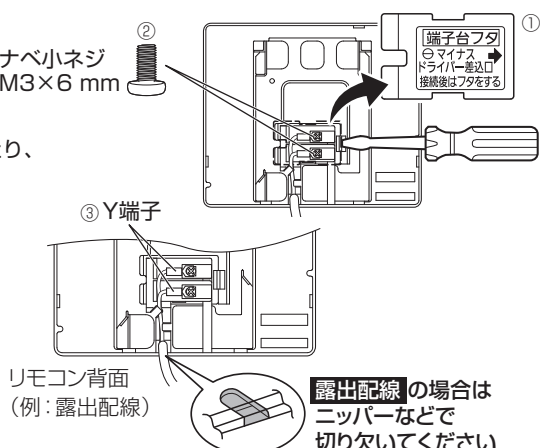
※異なるネジを使用すると、先端が突き当たり、リモコン破損の原因になります。

③ リモコンコードの被覆を約 6 mm はがし、同梱の Y 端子を圧着して、右図のように接続してください。

*リモコンは無極性です。

●接続後は必ず端子台フタを元に戻して、パチンと音がするまで押してください。

*確実にフタをしないと故障の原因になります。



ナベ小ネジ M3×6 mm

②

③ Y 端子

リモコン背面 (例：露出配線)

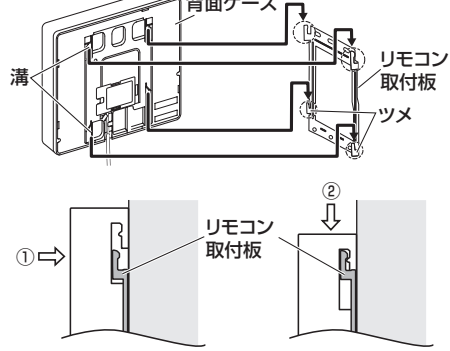
端子台フタを元に戻し、パチンと音がするまで押し込んでください。

露出配線の場合はニッパーなどで切り欠いてください

5 リモコンコード露出配線

① リモコン背面の溝にリモコン取付板のツメを合わせて押し当て、

② 下方に押し下げてください。



背面ケース

リモコン取付板

ツメ

溝

①⇒

②

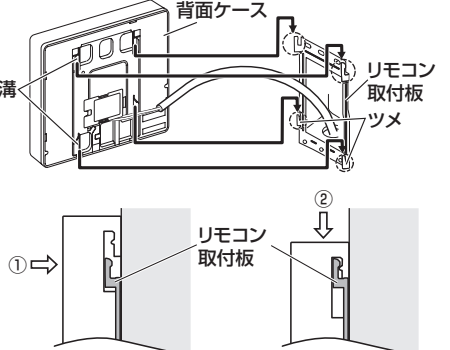
●確実に取り付けられ、がたつきがないことを確認してください。

リモコンコード埋込配線

●余ったリモコンコードは壁穴に押し込んでください。このとき端子部に力が加わらないように注意してください。

① リモコン背面の溝にリモコン取付板のツメを合わせて押し当て、

② 下方に押し下げてください。



背面ケース

リモコン取付板

ツメ

溝

①⇒

②

●確実に取り付けられ、がたつきがないことを確認してください。

【お願い】

●リモコンコードが金属エッジに触れて損傷するおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。

浴室リモコン取付工事 ※浴室リモコンのない機種は不要です

取付場所を選定する

- お客様と相談して使いやすい場所を選んでください。
- 混合水栓の操作などに支障をきたさない場所を選んでください。

◆次の場所は避けてください。故障や不具合の原因になります。

鉄筋や柱が壁の中を
通っている
ところは
避ける

温水・水が
直接かかる
ところは
避ける

洗濯機

段差のある
ところは
避ける

屋外に
取り付け
ない

ひとセンサー付浴室リモコン取付位置について

浴室に人が入ったときや入浴中に確実に検知する位置に取り付けてください。

推奨例

検知しにくい例

〈上から見た図〉
(入室時)

〈正面から見た図〉
(入浴時)

〈入口付近に
取り付けた場合〉
(入室時)

〈高い位置に
取り付けた場合〉
(入浴時)

●約5分間浴室内で人がじっとしていると、人がいないと判断してリモコンの表示が消えることがあります。

ユニットバスへの取り付け

1 準備

●ユニットバスの搬入の前にリモコン補強板（木片など）をユニットバスの裏側に接着剤などで取り付けてください。
リモコン補強板は、浴室リモコンを木ネジで固定するために必要です。
現地調達してください。

2 ユニットバスとリモコン補強板の穴あけ

●下記に従って、コード取出穴（φ 10 mm 程度）をあけてください。ユニットバスとリモコン補強板にリモコン信号線を通すための貫通穴です。（出っぱりやバリは必ず取り除く）

●リモコン取付穴は指定の位置にあけてください。リモコン補強板には穴を貫通させないよう注意してください。（木ネジで浴室リモコンを固定するため）

〈ユニットバス壁穴寸法〉 〈単位：mm〉

リモコン取付穴 2-φ5（ユニットバス壁のみ）

コード取出穴 φ 10 程度（貫通穴）

コード取出穴の
周りの出っばりは
取り除く
動作不良・故障の原因

リモコン取付穴とコード取出穴は
センターラインを一致
リモコン信号線やコードをかみ込ませない
（水が浸入するなど故障の原因になります）

浴室リモコン取付工事 つづき

在来工法の浴室への取り付け

在来工法の浴室への取り付けには、必ず別売部材「一般浴室用リモコン取付部材 CF-RK2」（下図）を使用してください。

1 壁に穴をあける

●空気抜きパイプを通すための貫通穴（φ 22 ～ 25 mm）を壁に対して直角にあけてください。
＊貫通穴が大きい（φ 30 mm 以上）と、浴室リモコンの固定ができなくなります。

●リモコン取付穴をあけてください。
プラグを使用する場合は、プラグ用の穴（φ 6 mm）をあけてプラグを打ち込んでください。（「施工上のご注意」参照）

〈在来工法の浴室壁穴寸法〉 〈単位：mm〉

リモコン取付穴（プラグ用）
2-φ6
深さ約30

貫通穴
φ22～25

リモコン背面
パッキン穴

リモコン取付穴と貫通穴は
センターラインを一致
故障の原因になります

2 空気抜きパイプを切断する

●壁厚プラス（15 ～ 20 mm）の長さで切断してください。空気抜きパイプのストレート部がない方を切断してください。

●壁厚が 70 mm 以下の場合は、化粧カバーと壁の間にスペーサーなどを入れてください。

〈単位：mm〉

ストレート部

235

壁厚+15～20

切断する

3 空気抜きパイプにリモコン信号線を通して、ねじ込んでください。

パッキン

空気抜きパイプ（別売）

リモコン信号線

しっかりと
ねじ込む

4 リモコンコードとリモコン信号線を接続する

●上記『ユニットバスへの取り付け』の 5、6 を参照してください。

●上記『ユニットバスへの取り付け』の 5、6 を参照してください。

●空気抜きパイプを化粧カバーの穴に通し、ナットをねじ込んで固定してください。

パッキン部 化粧カバー（別売） ナット（別売） ナット（別売）

リモコン信号線 空気抜きパイプ（別売）

①リモコン信号線 2 本をチューブに入れてから、リモコンコードの先端を窓付接続端子に差し込みます。確実に挿入されていることを窓から確認した後、圧着して接続してください。
呼び径：1.25 の圧着スリーブに適用する
かしめ工具を用いて圧着接続してください。

チューブ（別売） リモコン信号線 リモコンコード 窓付接続端子 段差を付け
圧着位置をすらす

＊リモコンは無極性です。

②チューブで圧着部を覆い、結束バンドで結束します。（3 か所）

チューブ（別売） 結束バンド（別売） 圧着部をチューブでカバーする

〔お願い〕

●リモコン信号線やリモコンコードが金属エッジ部などに触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。

8 フタを付ける

●余ったリモコン信号線やリモコンコードは、化粧カバーの中に収め、かみ込みのないようにフタをしてください。

フタ

9 シングリを塗布する

●上記『ユニットバスへの取り付け』の 7 を参照して必ず実施してください。

3 リモコンコードを引き出す

●リモコンコードをコード取出穴から 150 ～ 200 mm 引き出してください。

（単位：mm）

窓付接続端子

リモコンコード

150～200

リモコン信号線

4 リモコンコードとリモコン信号線を接続する

●リモコンコードの被覆を約 5 mm はがし、浴室リモコン側のリモコン信号線先端の窓付接続端子に差し込みます。
確実に挿入されていることを窓から確認した後、圧着して接続してください。

＊リモコンは無極性です。

〔お願い〕

●接続完了後、引き出したリモコンコードとリモコン信号線を、接続部に力が掛からないように注意しながら、ユニットバス壁の外側に戻してください。

●リモコン信号線やリモコンコードが金属エッジ部などに触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。

（単位：mm）

リモコンコード

リモコン信号線

窓付接続端子

段差を付け
圧着位置をすらす

ユニットバス壁

約5

約20

●呼び径：1.25 の圧着スリーブに適用する
かしめ工具を用いて圧着
接続してください。

＊リモコン信号線を穴の周囲にかみ込ませない
（リモコン内部に水が浸入するなど、故障の原因になります）

5 リモコンを壁に固定する（つづき）

③背面パッキンの粘着はくり紙をはがし、リモコンケースを壁と水平に接着して仮固定する。
リモコン信号線を穴の周囲にかみ込ませない

リモコン背面

リモコン側面

リモコン信号線を
まっすぐ引き出す

④同梱の本ネジと平座金で浴室リモコンをユニットバス壁面に固定してください。
同梱の平座金と木ネジを使う

リモコン背面

リモコン側面

リモコン信号線を
かみ込み、水浸入・
動作不良の原因

2か所

平座金

木ネジ

皿ネジは
使用厳禁

強く締めすぎない

6 ケースカバーを取り付ける

●ケースカバー（パネル面）の四隅をパチンと音がするまで押し込んでください。
＊ケースカバーが浮いていると、スイッチが入らなったり入りにくいことがあります。

ケースカバー

7 シーリング剤を塗布する

●浴室リモコン **全周に必ずシーリング剤** を塗布してください。シーリング剤塗布が不十分な場合、**水や蒸気が浸入し故障の原因** になります。

ケースカバー

必ず全周に隙間なく
塗布する（斜線部）

側面

ヒートポンプ給湯機との接続

貯湯ユニットにリモコンコードを接続する（JP・N・J・S・NS・Y シリーズの接続例）

■貯湯ユニットの前板を外す

①貯湯ユニットの漏電しゃ断器の「切」を確認してください。

②前板の取り付けネジをゆるめ、前板を外してください。

貯湯ユニット

前板

漏電しゃ断器

■リモコンコードの接続

①台所リモコンおよび浴室リモコンのリモコンコードを圧着接続してください。
＊必ず接続するリード線の色を確認して、正しく接続してください。

②シールド付リモコンコードの場合にはシールド線をリモコンアース用端子ネジに固定してください。

③リモコンコードは同梱のコード止め具とネジで固定してください。

④貯湯ユニット側の電気工事・リモコン工事終了後、リモコンコードをかみ込まないように注意して前板を取り付けネジで固定してください。

＊既に貯湯ユニット側の接続工事が完了している場合も、前板を開けて必ずリモコンコードがコード止め具で固定されていることを確認してください。

ヒートポンプ給湯機の機種により接続位置やコード止め具の位置が異なります。
ヒートポンプ給湯機に同梱の工事説明書に従い正しく接続してください。

リモコンコード（2心）の接続例

リモコンアース用
端子ネジ

浴室用（赤）
台所用（黄）

ネジ（同梱）

リモコンコード

コード止め具（同梱）

【お願い】

●リード線接続部はすべて、呼び径：1.25 の圧着スリーブに適用する
かしめ工具を用いて圧着接続
してください。

かしめ工具

工事完了後の確認

チェック

- (1) 接続端子、Y 端子は確実に圧着されていますか。
- (2) リモコンコードはコード止め具で固定されていますか。
- (3) 貯湯ユニットの前板にリモコンコードやリード線がかみ込まれていないことを確認しましたか。
- (4) リモコンコードが連絡配線 VVF ケーブル（3 心）や 200 V 電源線と束ねられていないことを確認しましたか。
- (5) リモコンは確実に固定されていますか。
- (6) 表面の保護シートははがされていますか。
- (7) 浴室リモコンのケースカバーは浮いていませんか。
- (8) 浴室リモコン全周にシーリング剤を塗布していますか。

パナソニック株式会社 水ソリューションズビジネスユニット

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2025

試運転

ヒートポンプ給湯機との接続が完了したら、試運転を行ってください。
●詳細は、ヒートポンプ給湯機に同梱の工事説明書：「試運転する」をご覧ください。

G992021003404
G0125FO